

平成 2 2 年度 市民意識調査

多文化共生について

平成 23 年 3 月

北 九 州 市

は　じ　め　に

北九州市では、市民の意見を今後の市制運営に役立てるため、毎年「市政評価と市制要望」及び「特定テーマ」について市民意識調査を実施しています。

「特定テーマ」調査では市政の重要事項を取り上げており、本年度は「多文化共生について」というテーマで調査を行い報告書にまとめました。

本市では、国籍や民族などの違う人々が、お互いの文化の違いを認め合い、地域社会で暮らす仲間として共に生活していく多文化共生のまちづくりに向け、NPOや市民団体等と連携、協働して様々な取り組みを進めています。

今回の調査で市民の皆さまから寄せられた多文化共生についての貴重なご意見は、今後、本市がすすめる「多文化共生のまちづくり」の施策に十分に活用させていただきたいと思えます。

アンケート調査にご協力くださいました皆さま方に、厚くお礼を申し上げます。

平成23年3月

北九州市長 北 橋 健 治

多文化共生について

調査の概要

1 調査の目的

北九州市では、毎年度、特定テーマについて市民意識調査を実施している。平成 22 年度は「多文化共生について」というテーマで実施した。

近年、全国的な外国人の増加と定住化を背景に、国籍や民族などが異なる人が地域で共に生きていく「多文化共生」社会の実現が求められるようになった。

本市においても、外国人登録者数は、平成 22 年 3 月現在、1 万 1 千人を超えており、今後ともアジアからの留学生やビジネスマンをはじめとする外国人市民は、引き続き増加することが見込まれている。

そこで今回初めて「多文化共生」をテーマとして、市民の多文化共生に対する意識や要望を把握し、今後力を入れて取り組む具体的な施策を検討するための資料とするものである。

2 調査の設計

(1) 調査票

この調査は、郵送調査で実施するため設問をできるだけ整理し、日本人向けアンケート及び外国人向けアンケートを以下 10 分野 10 項目の設問で構成した。

なお、問 1 については、例年実施している「市政評価と市政要望」の設問であり、別途報告書作成を行っている（調査票：巻末参照）

(1) 「多文化共生」の認知度について		(7) 活動しやすい地域について	
問 2	「多文化共生」という言葉の認知度	問 8	活動を行うにあたり、活動しやすい地域
(2) 地域の外国人とのつきあいについて		(8) 学校について	
問 3	地域の外国人との現在のつきあいと、今後についての見解	問 9	外国人市民（子ども）と日本人が同じ学校で学ぶことについての見解
(3) 地域に外国人が住むことについて		(9) 力を入れるべき取組みについて	
問 4	地域に外国人が住むことについての見解	問 10	日本人市民と外国人市民とが共に暮らしやすいまちづくりの推進に向け、力を入れるべき取組み
(4) トラブル発生の原因について		(10) 多文化共生についての意見	
問 5	日本人と外国人との間にトラブルが起こるとしたら、一番の原因	問 11	多文化共生に関する自由意見
(5) 外国人市民に期待することについて		フェイスシート	性別・年齢・居住歴・職業・居住区
問 6	ともに暮らしやすい社会にするために、外国人市民に期待する事柄		
(6) 関わりたいことについて			
問 7	外国人市民とともに仲良く暮らすために、あなたが関わりたい事柄		

(2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 20 歳以上の男女個人 3,000 人 (市内在住外国人 39 人含む)

[標本抽出]

標本抽出は、平成 22 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳・外国人登録台帳 (20 歳以上 804,709 人、外国人は 10,552 人) をもとに 3,000 人を等間隔抽出した。

行政区別の設定標本数

区 分	居 住 人 口	抽 出 標 本 数	構 成 比
門司区	90,872 人	322 (5) 人	10.7 %
小倉北区	152,495	562 (13)	18.7
小倉南区	173,871	657 (5)	21.9
若松区	71,927	270 (1)	9.0
八幡東区	62,274	231 (5)	7.7
八幡西区	211,875	761 (8)	25.4
戸畑区	51,947	197 (2)	6.6
計	815,261	3,000 (39)	100.0

(注 1) 居住人口は 20 歳以上人口で抽出リード件数である

(注 2) () 標本数は抽出した外国人 39 人の内訳である

(3) 調査方法

郵送調査法

3 調査の実施

この調査は、北九州市総務市民局市民部広聴課が主体となり実施したものである。

(1) 実査

調査票発送 平成 22 年 9 月 18 日

催告状発送 平成 22 年 10 月 1 日

回収締切り 平成 22 年 10 月 11 日

(2) 集計・分析

集計、分析・コメントは株式会社東京商工リサーチが実施した。

数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

4 回収結果

発送標本数 3,000 票のうち、回収標本総数は 1,982 票であった。このうち有効回収数は、1,941 票で、有効回収率は 64.7%であった。(昨年度は有効回収数 1,618 票、有効回収率は 53.9%)

なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

行政区別回収状況

区 分	設 定 標 本 数	有 効 回 収 数	有 効 回 収 率
門司区	322 人	220 人	68.3 %
小倉北区	562	352	62.6
小倉南区	657	419	63.8
若松区	270	178	65.9
八幡東区	231	144	62.3
八幡西区	761	493	64.8
戸畑区	197	135	68.5
計	3,000	1,941	64.7

(注1) 設定標本数は外国人(39サンプル)を含む

調査結果

1 回答者の構成

有効回収数 1,941 票の標本は下表のとおりである。

回答者の構成

N : 1,941 人

性別	男性	女性	無回答				
	41.8% 812人	57.9% 1,124人	0.3% 5人				
年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	9.1% 177人	13.5% 263人	15.8% 306人	16.4% 319人	22.8% 442人	22.2% 431人	0.2% 3人
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	11.3% 220人	18.1% 352人	21.6% 419人	9.2% 178人	7.4% 144人	25.4% 493人	7.0% 135人
居住歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満
	4.5% 88人	3.2% 62人	3.6% 70人	7.7% 149人	10.7% 207人	20.8% 404人	18.7% 363人
	30年以上	無回答					
	30.7% 596人	0.1% 2人					
職業 (日本人市民のみ) N : 1,928	自営業	自由業	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	7.3% 141人	1.1% 21人	25.4% 490人	4.2% 81人	0.3% 5人	15.0% 289人	16.2% 313人
	学生	無職	その他	無回答			
	2.0% 38人	23.1% 446人	5.2% 100人	0.2% 4人			
在留資格 (外国人市民のみ) N:13	特別永住者	永住者	日本人の配偶者	永住者の配偶者	定住者	家族滞在	留学
	84.6% 11人	7.7% 1人	0.0% 0人	0.0% 0人	0.0% 0人	0.0% 0人	7.7% 1人
	就学又は研修	人文知識・国際業務	技術	技能又は興業	特定活動 (技能実習生など)	その他	無回答
	0.0% 0人	0.0% 0人	0.0% 0人	0.0% 0人	0.0% 0人	0.0% 0人	0.0% 0人

なお、調査実施時の平成 22 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳による 20 歳以上の北九州市民の性別、年齢、住居区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が住民基本台帳の実態より 4.7 ポイント低い結果となっている。これを年齢別にみると、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映してか 20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態より 3.8 ポイント低く、逆に 60 歳代では調査サンプルのウエイトが 4.4 ポイント高いのが目立っている。なお、行政区別では概ね両者間に大きな差はみられていない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの 3 点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

平成 22 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳による人口構成（20 歳以上）

性別	男	女					
	46.5%	53.5%					
年齢	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	
	12.9%	16.2%	14.8%	15.8%	18.4%	21.9%	
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	11.2%	18.5%	21.5%	8.8%	7.6%	26.0%	6.4%

2 調査の結果

(1) 多文化共生の認知度

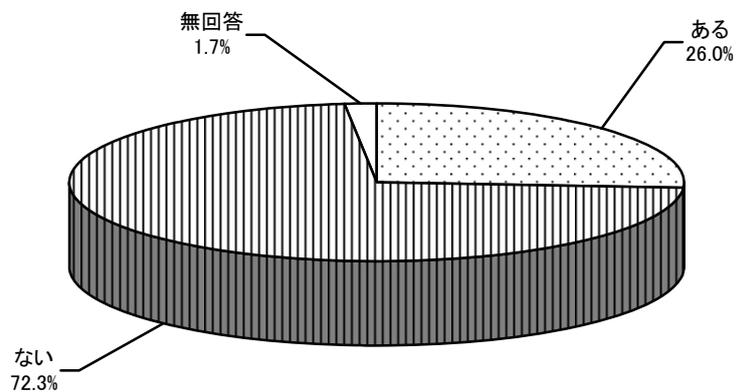
問2 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありましたか。(1つに)

N : 1,941 人

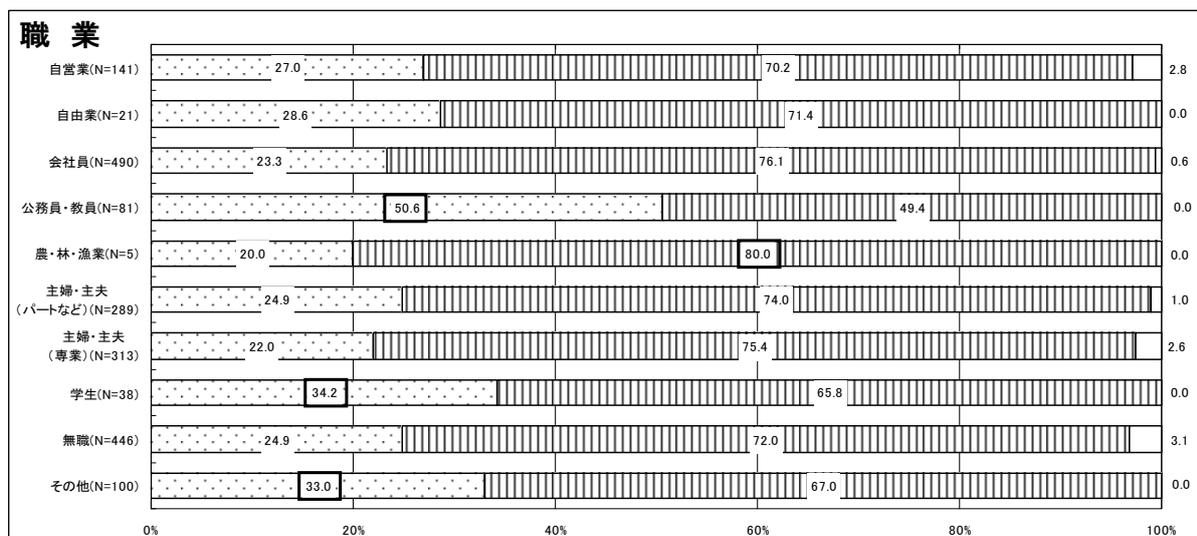
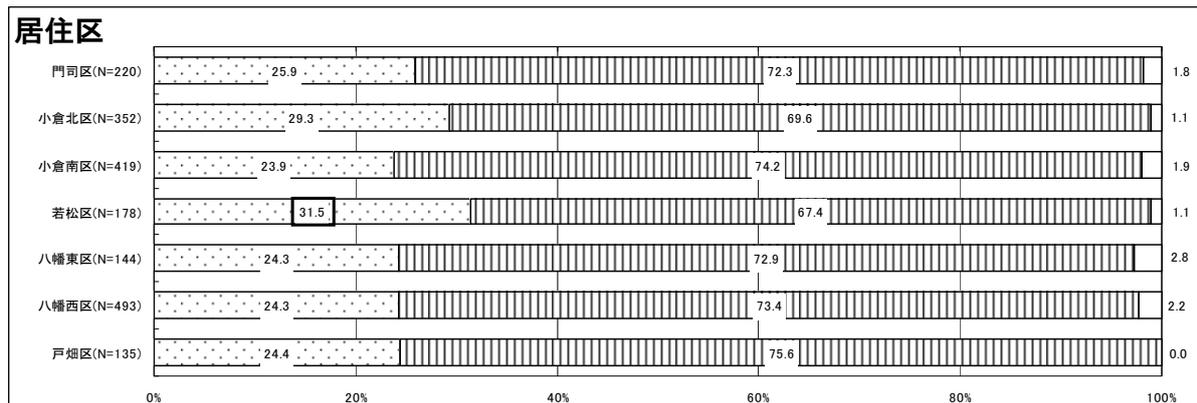
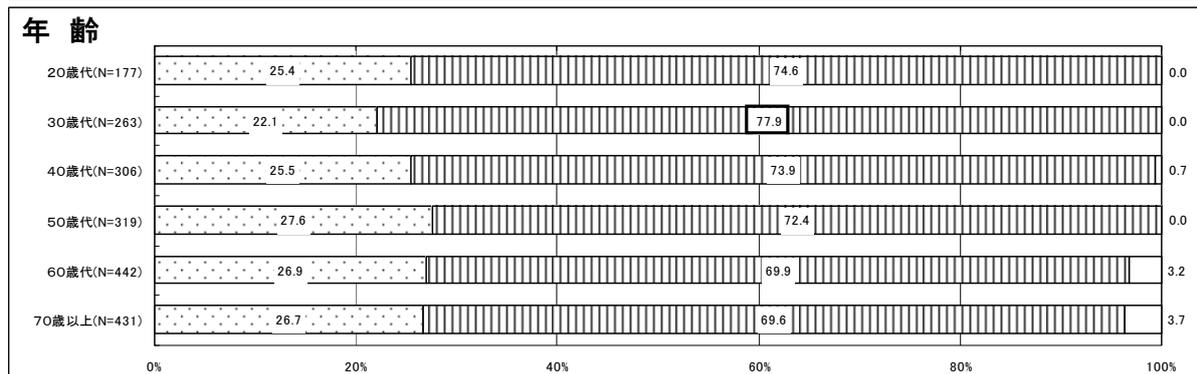
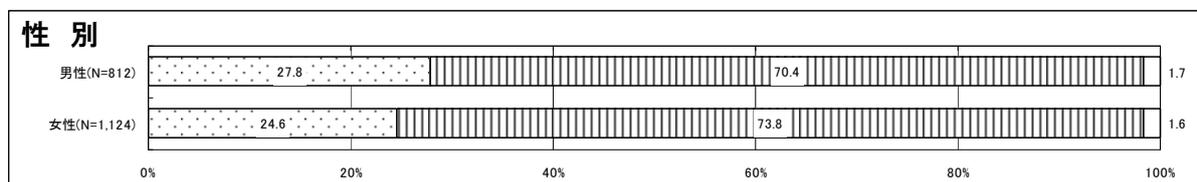
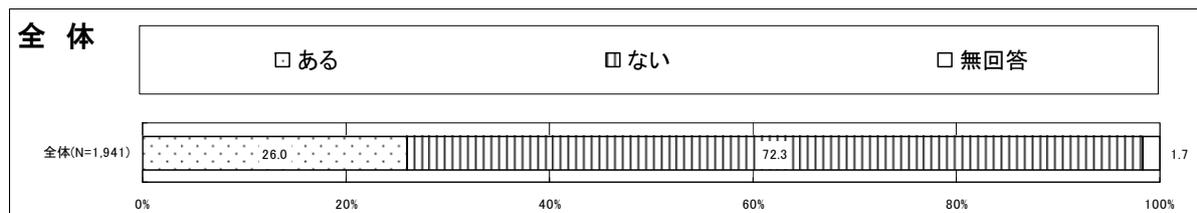
() は外国人市民の内数

項目	回答数(人)	割合(%)
1 ある	504(5)	26.0
2 ない	1,404(8)	72.3
無回答	33	1.7

認知度は低く 26.0%



問2 多文化共生の認知度



(注)外国人市民には在留資格を回答していただき、職業については回答していただいております。

太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

多文化共生という言葉については、聞いたことが「ない」との回答が72.3%を占めており、聞いたことが「ある」の26.0%の46.3ポイント上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 性別にみると、「ある」の割合は男性が27.8%、女性が24.6%と、性別による差はみられない。
- 年齢別にみると、「ある」の割合は50歳代(27.6%)で最も高く、30歳代(22.1%)で最も低く、その差は5.5ポイントと大きな差はみられない。
- 居住区別にみると、「ある」の割合は若松区(31.5%)で最も高く、「小倉南区」(23.9%)で最も低く、その差は7.6ポイントと大きな差はみられない。
- 職業別にみると、「ある」の割合は公務員・教員(50.6%)で最も高く、僅差ではあるが唯一「ある」が「ない」を上回っている。「ない」は会社員(76.1%)で最も高くなっている。

(注) 農・林・漁業については、サンプル数が少ないため、コメントではふれないことにする。(以下、同様)

(2) 地域の外国人とのつきあいの実態と今後の意向

問3 あなたは現在、地域の外国人とどのようなつきあいがありますか。また、今後どのように接していきたいと思えますか。(はそれぞれ1つ)

外国人市民へは地域の日本人とのつきあいについて質問

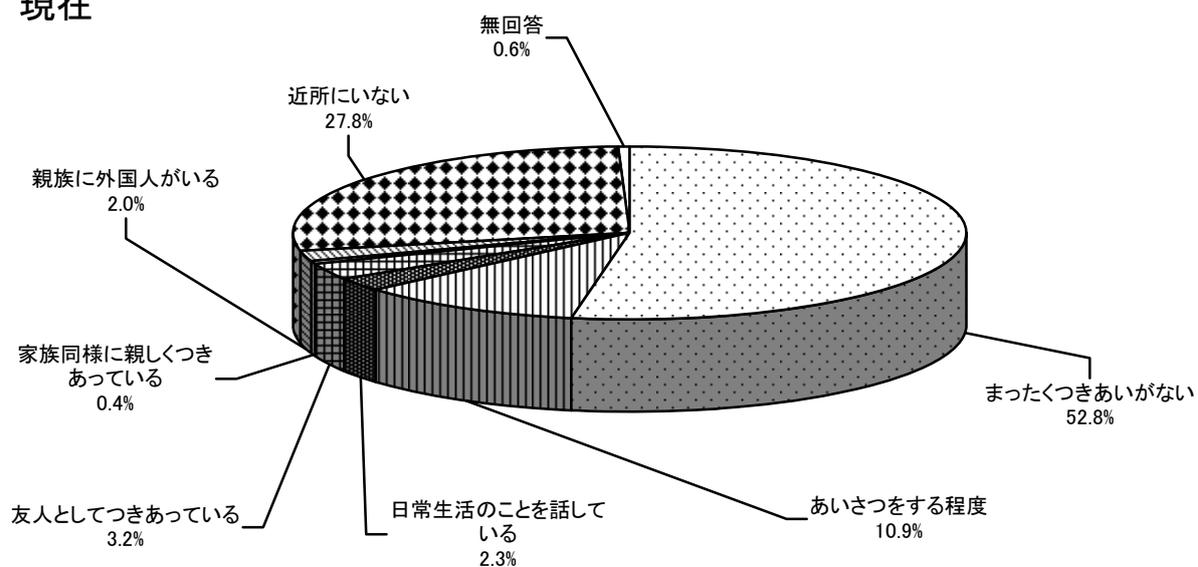
N : 1,941人

() は外国人市民の内数

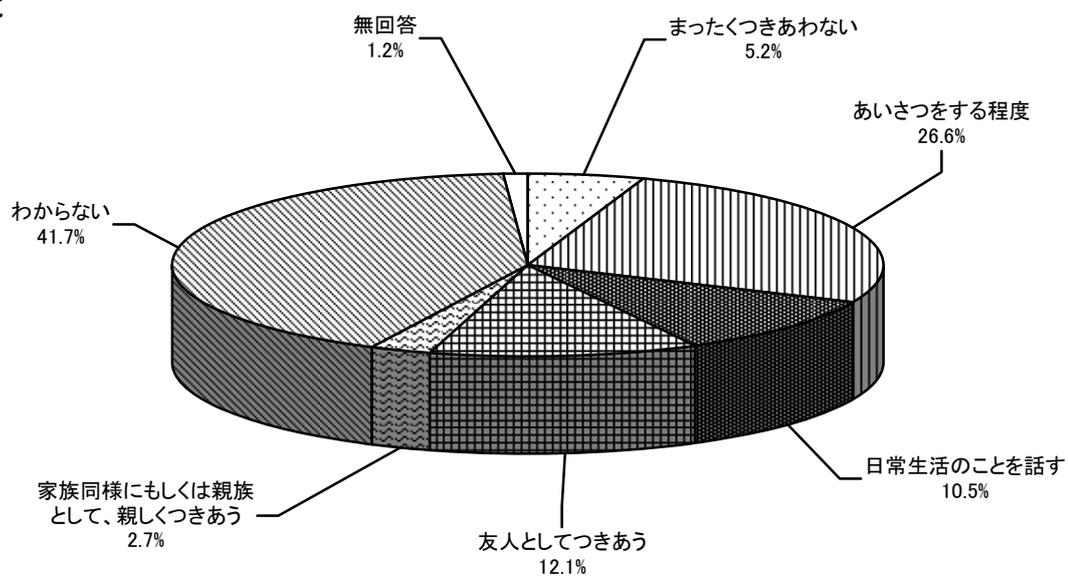
現在			今後		
項目	回答数 (人)	回答率 (%)	項目	回答数 (人)	回答率 (%)
1 まったくつきあいが ない	1,024	52.8	1 まったくつきあわない	101	5.2
2 あいさつをする 程度	211 (1)	10.9	2 あいさつをする 程度	516 (1)	26.6
3 日常生活のことを話し ている	44 (1)	2.3	3 日常生活のことを話す	203 (1)	10.5
4 友人として つきあっている	63 (5)	3.2	4 友人として つきあう	235 (5)	12.1
5 家族同様に親しくつき あっている	8 (1)	0.4	5 家族同様にもしくは親 族として、 親しくつきあう	53 (6)	2.7
6 親族に外国人がいる	39 (5)	2.0	6 わからない	809	41.7
7 近所にいない	540	27.8	無回答	24	1.2
無回答	12	0.6			

地域の外国人とのつきあいは、
現在のトップは、「まったくつきあいがいい」(52.8%)
今後のトップは、「わからない」(41.7%)

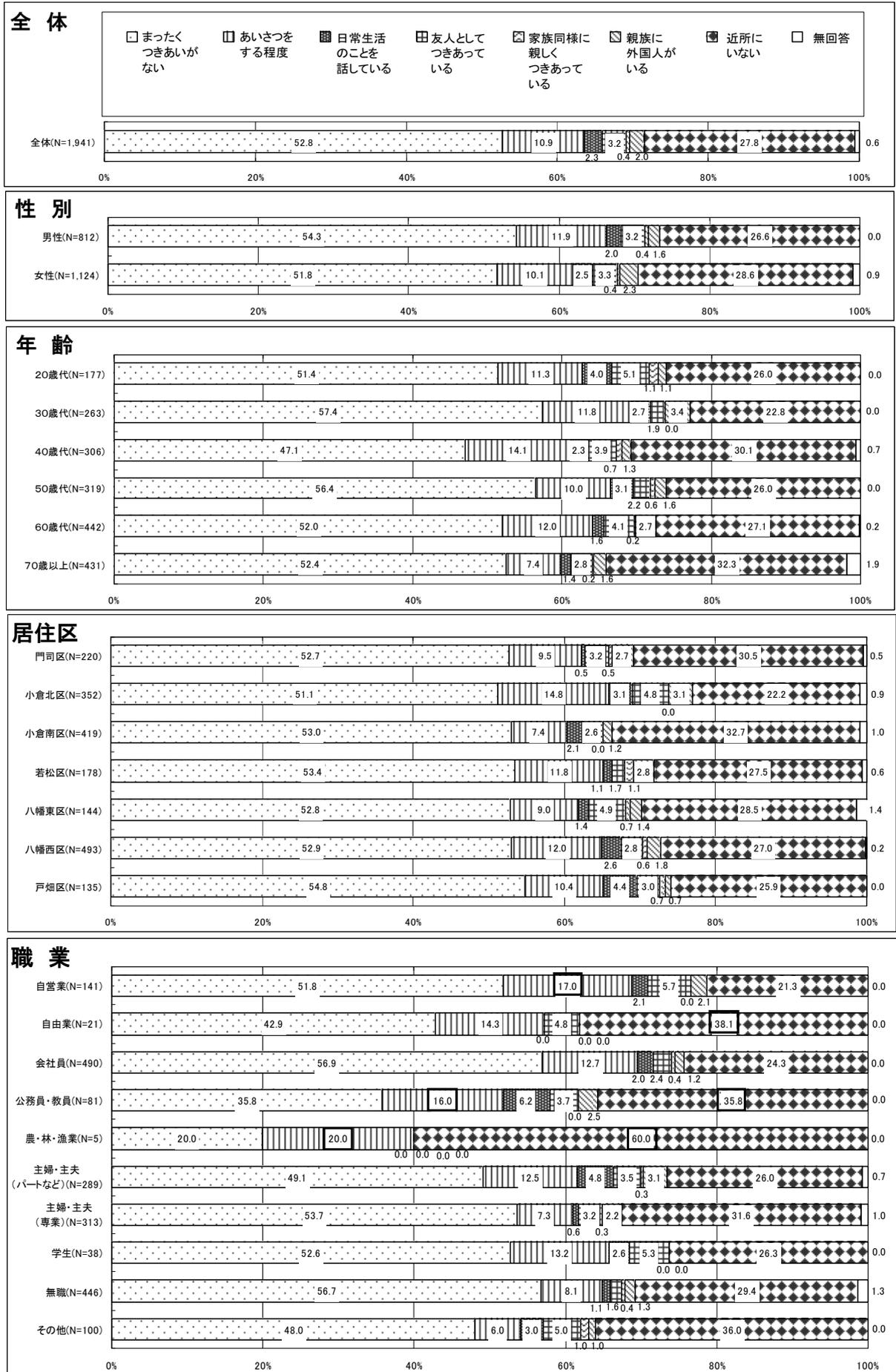
現在



今後



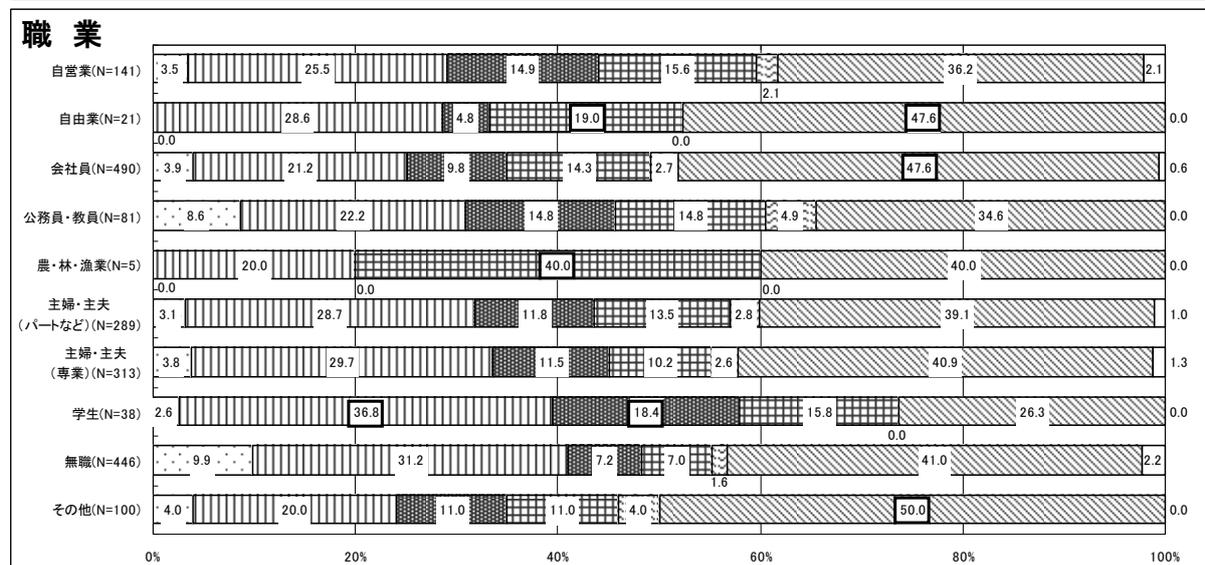
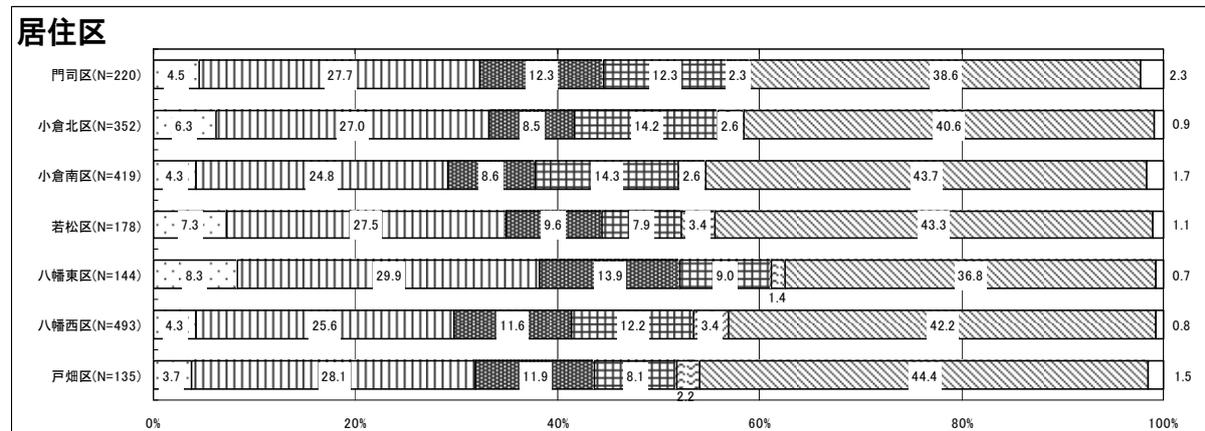
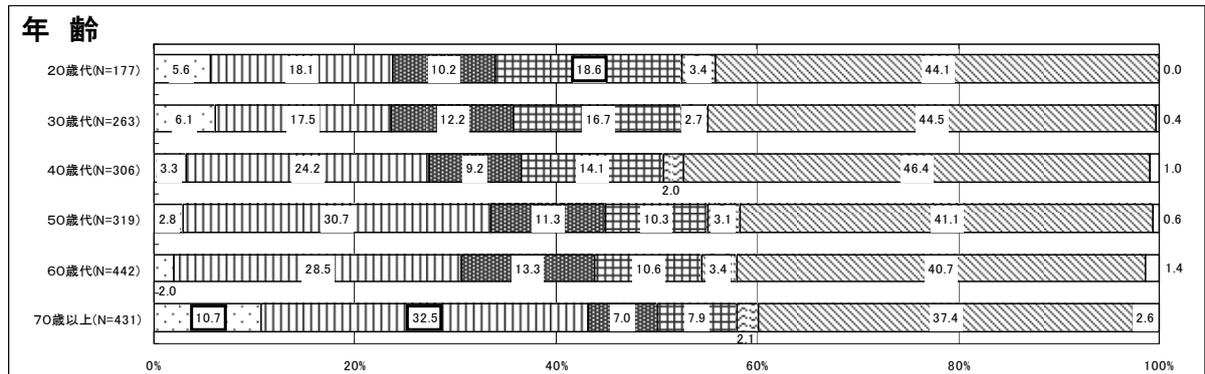
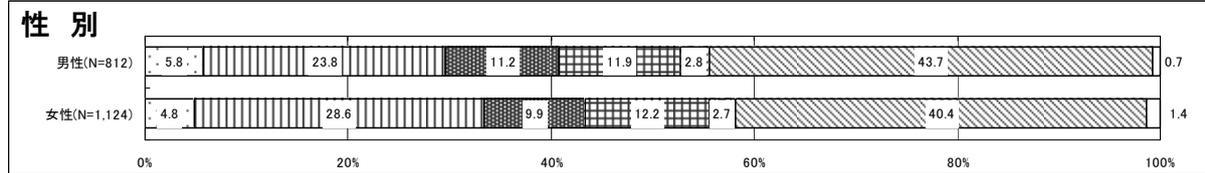
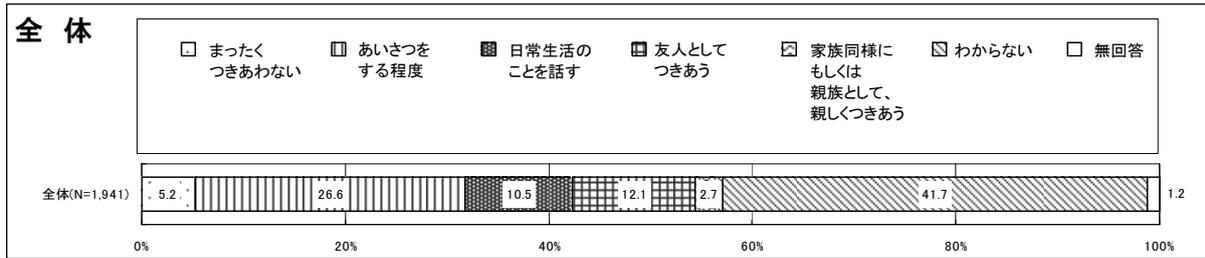
問3 地域の外国人とのつきあいの実態と今後の意向・現在



(注)外国人市民には在留資格を回答していただき、職業については回答していただきません。

太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

問3 地域の外国人とのつきあいの実態と今後の意向・今後



(注) 外国人市民には在留資格を回答していただいております。職業については回答していただいております。

太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域の外国人とのつきあいの実態と今後の意向

【 全 体 的 傾 向 】

現在のつきあいについては、「まったくつきあいが無い」が 52.8%で最も高い。次いで、「近所にいない」(27.8%)と、約 8 割の市民が地域において外国人と実際につきあう機会がない状況である。つきあいがある場合も、「あいさつをする程度」(10.9%)が最も高いといった状況である。

今後の意向としては、「わからない」が 41.7%で最も高い。次いで、「あいさつをする程度」(26.6%)、「友人としてつきあう」(12.1%)である。また、「あいさつをする程度」(現在 10.9% 今後 26.6%)、「日常生活のことを話す」(現在 2.3% 今後 10.5%)、「友人としてつきあう」(現在 3.2% 今後 12.1%)、「家族同様につきあう」(現在 0.4% 今後 2.7%)など、今後は地域の外国人市民とのつきあいをより深めたいとする割合が高くなっている。「まったくつきあわない」は 5.2%とわずかである。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 性別にみると、現在のつきあいについて、男女とも「まったくつきあいが無い」の割合が最も高く、男性 54.3%、女性 51.8%と、性別における差はみられない。他の項目についても、性別における差はみられない。今後の意向としては、男女とも「わからない」が最も高く、男性 43.7%、女性 40.4%と、性別における差はみられない。他の項目についても、性別における差はみられない。
- 年齢別にみると、現在のつきあいについて「まったくつきあいが無い」の割合は、30 歳代 (57.4%) が最も高く、40 歳代 (47.1%) が最も低い。また、「近所にいない」の割合は、70 歳以上 (32.3%) が最も高く、30 歳代 (22.8%) が最も低くなっており、年齢間における大きな差はみられない。「日常生活のことを話している」、「友人としてつきあっている」、「家族同様に親しくつきあっている」といったある程度親密なつきあいがあるとの回答は、僅差ではあるが 20 歳代が最も高くなっている。今後の意向としては「わからない」が全年齢層で最も高くなっている。「まったくつきあわない」の割合は 70 歳以上が 10.7%で唯一 1 割を超えている。「友人としてつきあう」は 20 歳代が 18.6%で最も高く、70 歳以上が 7.9%で最も低く、ほぼ年齢層が低いほうが割合が高い。
- 居住区別にみると、現在のつきあいについて「まったくつきあいが無い」の割合は、戸畑区 (54.8%) で最も高く、小倉北区 (51.1%) で最も低く、その差は 3.7 ポイントと差はみられない。「近所にいない」の割合は小倉南区 (32.7%) で最も高く、小倉北区 (22.2%) で最も低く、その差は 10.5 ポイントと居住区間で若干差がみられる。他の項目は、居住区間で大きな差はみられない。今後の意向としては「わからない」が全居住区で最も高くなっている。戸畑区 (44.4%) で最も高く、八幡東区 (36.8%) で最も低く、その差は 7.6 ポイントと大きな差はみられない。「まったくつきあわない」の割合は、八幡東区 (8.3%) で最も高く、戸畑区 (3.7%) で最も低く、その差は 4.6 ポイントと差はみられない。他の項目も同様に居住区間で大きな差はみられない。
- 職業別にみると、現在のつきあいについて「まったくつきあいが無い」の割合は、全ての職業で最も高い。会社員が 56.9%で最も高く、公務員・教員が 35.8%と最も低く、その差は 21.1 ポイントと職業間で差がみられる。公務員・教員は「まったくつきあい

がない」と「近所にいない」が同率である。今後の意向としては「わからない」の割合が学生を除く全ての職業で最も高い。その他が50.0%で最も高く、学生が26.3%と最も低く、その差は23.7ポイントと職業間で差がみられる。なお、学生は「あいさつをする程度」が36.8%で最も高い。「まったくつきあわない」の割合は、無職(9.9%)が最も高く、自由業(0.0%)で最も低く、その差は9.9ポイントとやや差がみられるが、全ての職業で1割を下回っている。

(3) 外国人が住むことについて【日本人市民のみへの質問】

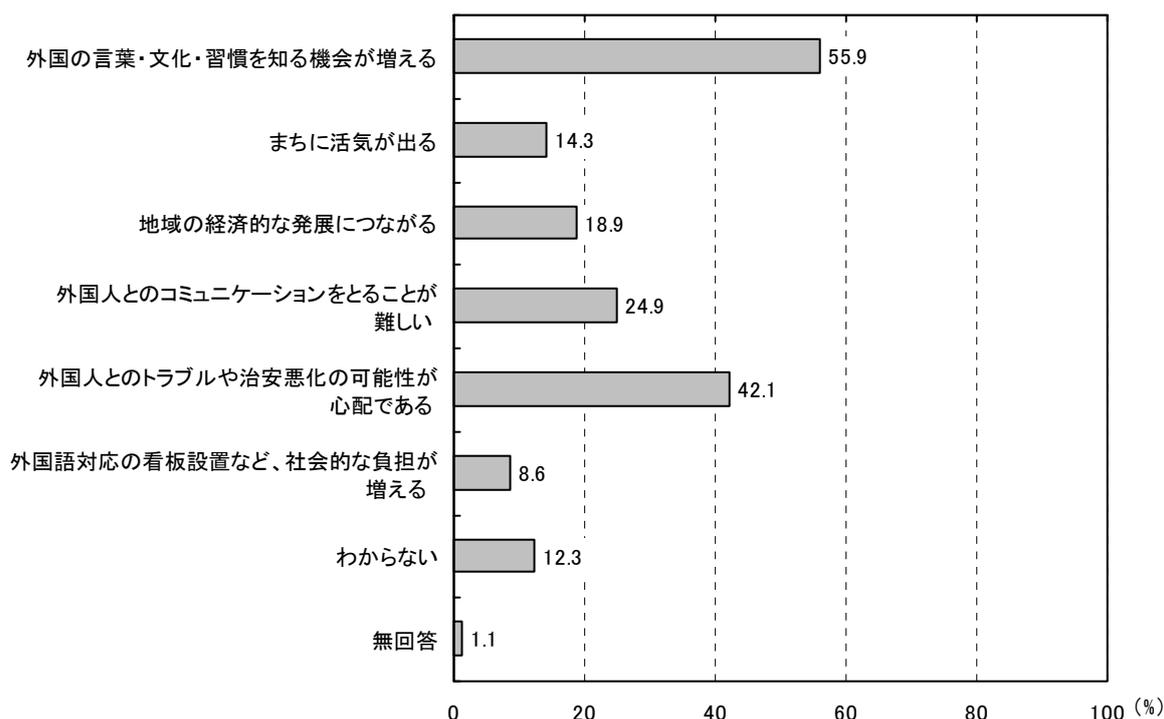
問4 あなたは、地域に外国人が住むことについて、どう思いますか。(3つまで)

N : 1,928 人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える	1,078	55.9
2 まちに活気が出る	276	14.3
3 地域の経済的な発展につながる	365	18.9
4 外国人とコミュニケーションをとることが難しい	480	24.9
5 外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である	812	42.1
6 外国語対応の看板設置など、社会的な負担が増える	166	8.6
7 わからない	238	12.3
無回答	22	1.1

外国人が住むことについて、

- 1位 「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」(55.9%)
- 2位 「外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である」(42.1%)
- 3位 「外国人とコミュニケーションをとることが難しい」(24.9%)



問4 外国人が住むことについて

		サンプル数	外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える	まちに活気が出る	地域の経済的な発展につながる	外国人とのコミュニケーションをとることが難しい	外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である	外国語対応の看板設置など、社会的な負担が増える	わからない	無回答
全体		1,928	55.9	14.3	18.9	24.9	42.1	8.6	12.3	1.1
性別	男性	806	52.6	14.6	20.1	23.8	45.2	9.9	11.4	0.7
	女性	1,117	58.4	14.1	18.2	25.8	40.0	7.6	13.0	1.3
年齢別	20歳代	176	68.2	13.1	26.7	27.3	37.5	9.1	9.7	0.6
	30歳代	261	65.5	11.9	19.5	24.9	47.1	8.0	6.1	0.0
	40歳代	304	60.9	16.1	19.1	26.0	48.7	9.9	7.2	0.3
	50歳代	319	61.8	16.3	20.1	25.1	44.5	7.2	9.4	0.3
	60歳代	437	54.7	14.6	17.8	25.2	39.1	6.9	12.1	0.9
	70歳以上	428	38.6	13.3	15.4	22.9	37.9	10.5	23.4	3.3
居住年数別	1年未満	87	69.0	14.9	17.2	18.4	46.0	6.9	8.0	0.0
	2年未満	62	56.5	16.1	19.4	25.8	43.5	6.5	8.1	0.0
	3年未満	68	70.6	14.7	19.1	26.5	48.5	13.2	7.4	0.0
	5年未満	149	54.4	9.4	22.1	24.8	48.3	7.4	10.7	0.0
	10年未満	207	60.4	14.5	19.8	23.7	41.1	5.8	13.0	0.0
	20年未満	402	61.2	15.7	20.1	26.1	41.0	9.5	10.2	2.0
	30年未満	362	55.0	11.9	18.2	26.5	40.6	8.3	11.9	1.1
	30年以上	589	48.0	15.8	17.7	24.3	41.3	9.3	16.0	1.5
居住区別	門司区	218	58.3	17.4	21.6	23.9	42.7	9.2	11.9	2.8
	小倉北区	347	51.9	12.7	15.0	22.5	41.8	8.1	13.8	1.2
	小倉南区	418	57.9	13.2	18.9	23.2	43.8	9.1	12.7	1.2
	若松区	178	50.0	15.2	21.3	27.5	41.0	6.7	15.7	0.6
	八幡東区	142	51.4	16.9	19.0	31.0	44.4	14.1	14.8	0.7
	八幡西区	490	58.2	12.7	18.8	25.5	42.9	7.3	10.2	0.8
	戸畑区	135	60.7	19.3	22.2	25.9	33.3	8.9	8.9	0.7
職業別	自営業	141	49.6	19.9	17.0	18.4	43.3	5.7	7.8	1.4
	自由業	21	66.7	14.3	9.5	23.8	42.9	4.8	9.5	0.0
	会社員	490	60.4	14.7	21.0	24.7	48.4	10.4	8.0	0.2
	公務員・教員	81	63.0	17.3	24.7	23.5	46.9	7.4	4.9	0.0
	農・林・漁業	5	40.0	20.0	20.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	289	65.4	12.1	17.6	24.6	41.9	8.3	10.4	0.3
	主婦・主夫(専業)	313	58.1	15.0	19.2	26.2	40.6	6.7	14.1	1.6
	学生	38	76.3	7.9	23.7	28.9	28.9	13.2	7.9	2.6
	無職	446	39.7	11.9	15.9	24.4	38.3	9.6	20.9	2.5
	その他	100	66.0	20.0	24.0	34.0	34.0	6.0	11.0	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

地域に外国人が住むことについては、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」が 55.9% で最も高い。次いで、「外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である」が 42.1%、「外国人とのコミュニケーションをとることが難しい」が 24.9% となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」の割合は、20 歳代から 50 歳代は 6 割を上回っており、20 歳代（68.2%）が最も高い。一方、60 歳代は 54.7%、70 歳以上は 38.6% と、やや年齢層が低いほうが割合が高い。「地域の経済的な発展につながる」も 20 歳代（26.7%）が最も高く、20 歳代は肯定的な回答の割合が比較的高い。「外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である」は 40 歳代（48.7%）が最も高く、次いで 30 歳代（47.1%）となっている。「わからない」との回答は 70 歳以上（23.4%）で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」の割合は戸畑区（60.7%）で最も高く、若松区（50.0%）で最も低く、その差は 10.7 ポイントと居住区間で若干差がみられる。「まちに活気が出る」の割合は戸畑区（19.3%）で最も高く、小倉北区及び八幡西区（12.7%）で最も低く、その差は 6.6 ポイントである。「地域の経済的な発展につながる」の割合は戸畑区（22.2%）で最も高く、小倉北区（15.0%）で最も低く、その差は 7.2 ポイントである。戸畑区で、比較的肯定的な意見の占める割合が高くなっている。一方、「外国人とのコミュニケーションをとることが難しい」の割合は八幡東区（31.0%）で最も高く、小倉北区（22.5%）で最も低く、その差は 8.5 ポイントである。「外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である」の割合は八幡東区（44.4%）で最も高く、戸畑区（33.3%）で最も低く、その差は 11.1 ポイントと居住区間で若干差がみられる。「外国語対応の看板設置など、社会的な負担が増える」の割合は八幡東区（14.1%）で最も高く、若松区（6.7%）で最も低く、その差は 7.4 ポイントである。八幡東区で、比較的否定的な意見の占める割合が高くなっている。
- 職業別にみると、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」の割合は学生（76.3%）で最も高く、自由業、その他、主婦・主夫（パートなど）、公務員・教員、会社員も 6 割を超えている。最も低いのは無職（39.7%）で、その差は 36.6 ポイントと職業間で差がみられる。一方、「外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である」の割合は会社員（48.4%）で最も高く、学生（28.9%）で最も低く、その差は 19.5 ポイントと、こちらも職業間で差がみられる。「わからない」の割合は、無職（20.9%）が突出している。

(4) トラブル発生の原因

問5 日本人と外国人との間にトラブルが起こるとすれば、一番の原因はどこにあると思いますか。(1つに)

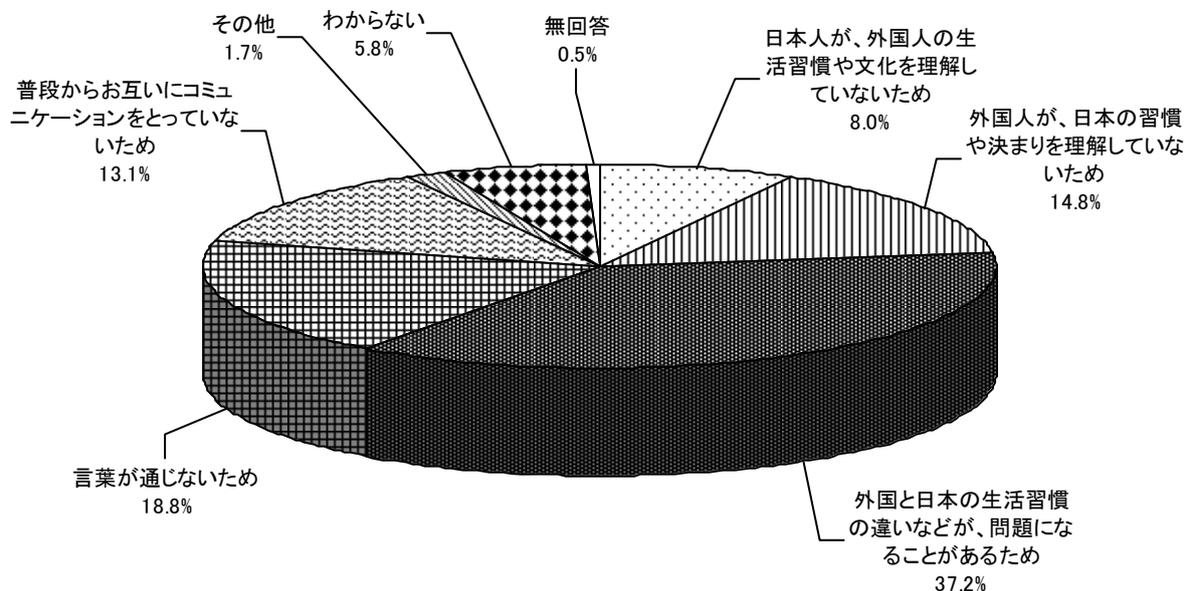
N : 1,941 人

() は外国人市民の内数

項目	回答数(人)	割合(%)
1 日本人が、外国人の生活習慣や文化を理解していないため	156(1)	8.0
2 外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため	288(1)	14.8
3 外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため	722(6)	37.2
4 言葉が通じないため	365(1)	18.8
5 普段からお互いにコミュニケーションをとっていないため	255(3)	13.1
6 その他	33	1.7
7 わからない	113(1)	5.8
無回答	9	0.5

トラブル発生の原因は、

- 1位 「外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため」(37.2%)
- 2位 「言葉が通じないため」(18.8%)
- 3位 「外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため」(14.8%)



問5 トラブル発生の原因



(注)外国人市民には在留資格を回答していただいております、職業については回答していただいております。

太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

トラブル発生の原因

【全体的傾向】

トラブル発生の原因については、「外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため」(37.2%)をトップに、「言葉が通じないため」(18.8%)、「外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため」(14.8%)となっている。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、男女とも「外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため」が最も高く、男性 35.1%、女性 38.8%と、差はみられない。他の項目も同様に、性別による差はみられない。
- 年齢別にみると、「外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため」が 20 歳代では 50.3%であるが、70 歳以上では 25.3%となっており、年齢が高いほど割合が低くなっている。一方、「言葉が通じないため」は 20 歳代では 13.0%であるが、70 歳以上では 26.5%となっており、ほぼ年齢が高くなるにつれ割合が高くなる傾向にある。同様に「日本人が、外国人の生活習慣や文化を理解していないため」は 20 歳代では 5.6%であるが、70 歳以上では 10.9%となっており、ほぼ年齢が高くなるにつれ割合が高くなる傾向にある。
- 居住区別にみると、全ての居住区で「外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため」が最も高く、若松区(43.3%)で最も高く、八幡東区(29.9%)で最も低く、その差は 13.4 ポイントとやや差がある。他の項目は居住区間での大きな差はみられない。
- 職業別にみると、「外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため」の割合が全ての職業で最も高い。その中で最も高いのは学生の 55.3%で、最も低いのは無職の 27.6%で、その差は 27.7 と職業間で差がある。「外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため」は、自由業(28.6%)と公務員・教員(28.4%)で比較的割合が高くなっている。

(5) 外国人市民に期待すること

問6 外国人市民とともに暮らしやすい社会にするために、外国人市民にどのようなことを期待しますか。(1つに)

外国人市民へは日本人市民に期待することを質問

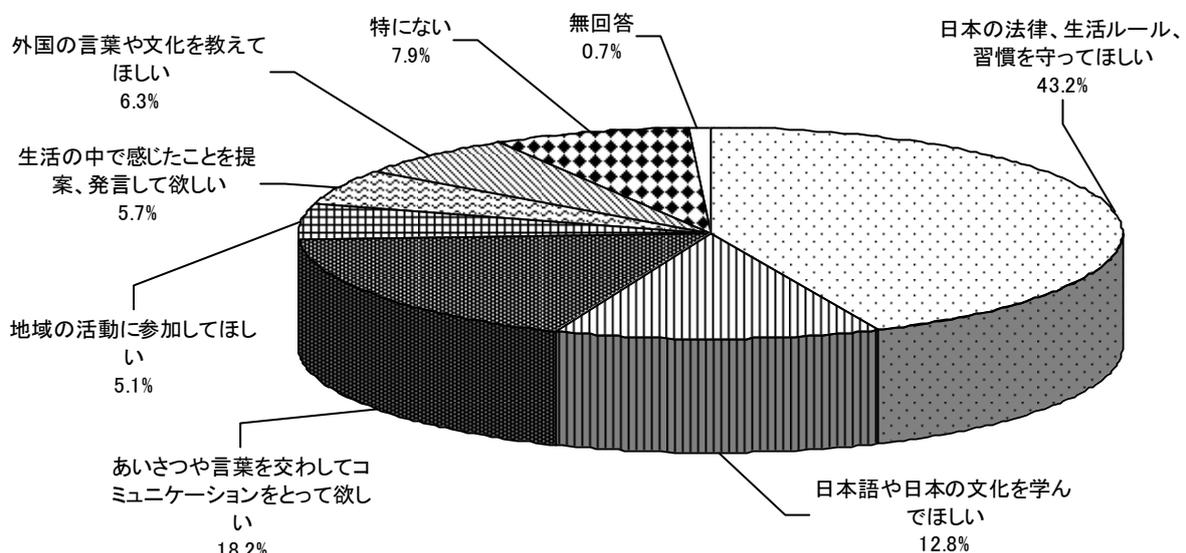
N : 1,941 人

() は外国人市民の内数

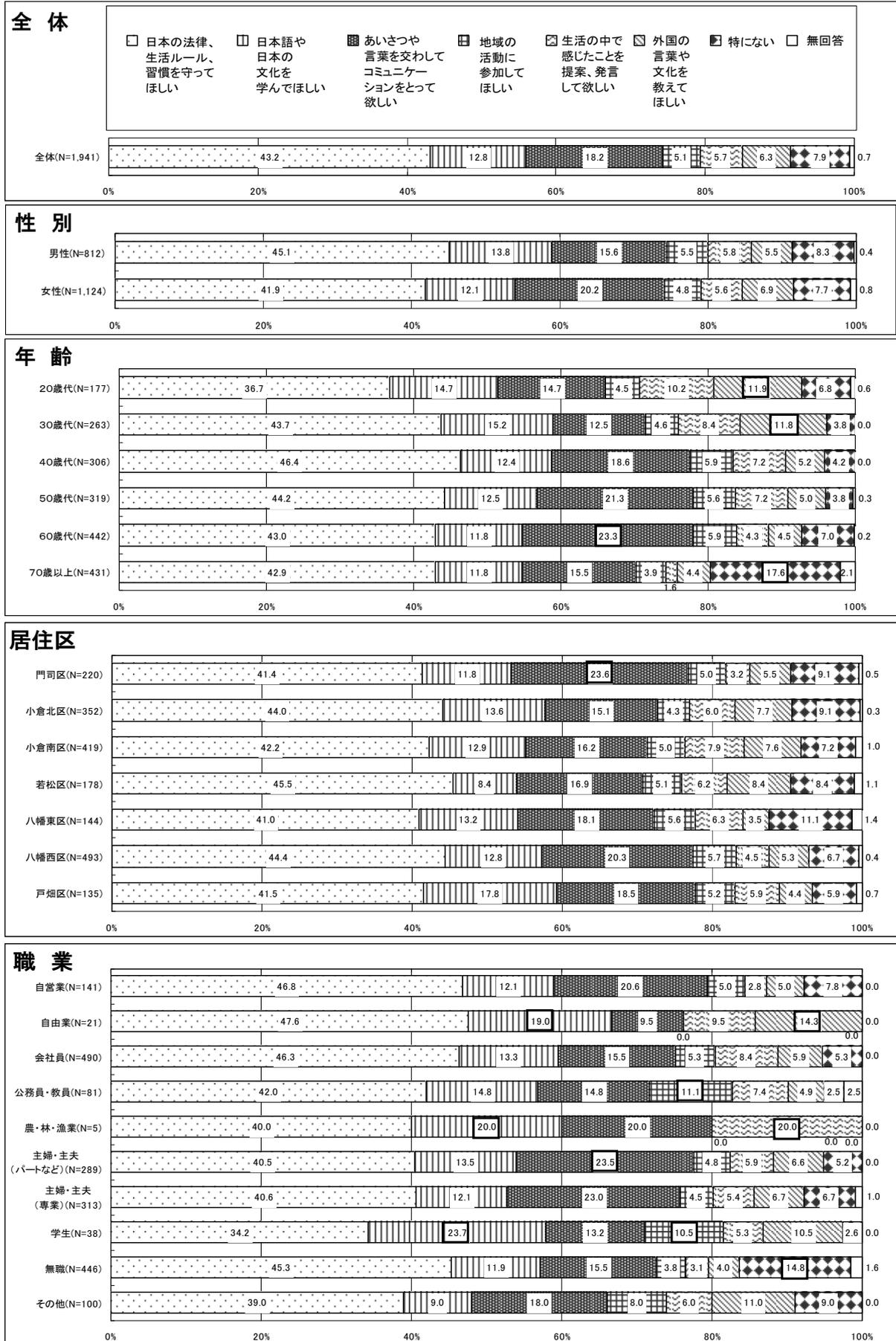
項目	回答数(人)	割合(%)
1 日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい (教えてほしい)	838(1)	43.2
2 日本語や日本の文化を学んでほしい (教えてほしい)	249(1)	12.8
3 あいさつや言葉を交わしてコミュニケーションをとって欲しい	354	18.2
4 地域の活動に参加してほしい (誘ってほしい)	99	5.1
5 生活の中で感じたことを提案、発言して欲しい (する機会を与えてほしい)	111(1)	5.7
6 外国の言葉や文化を教えてほしい (大切にしてほしい)	123(7)	6.3
7 特にない	154(3)	7.9
無回答	13	0.7

外国人市民に期待することは、

- 1位 「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」(43.2%)
- 2位 「あいさつや言葉を交わしてコミュニケーションをとって欲しい」(18.2%)
- 3位 「日本語や日本の文化を学んでほしい」(12.8%)



問6 外国人市民に期待すること



(注)外国人市民には在留資格を回答していただいております、職業については回答していただいております。

太枠

全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

外国人市民に期待すること

【全体的傾向】

外国人市民に期待することについては、「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」(43.2%)をトップに、「あいさつや言葉を交わしてコミュニケーションをとって欲しい」(18.2%)、「日本語や日本の文化を学んでほしい」(12.8%)となっている。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、男女とも「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」が最も高く、男性45.1%、女性41.9%と、差はみられない。他の項目も同様に、性別による差はみられない。
- 年齢別にみると、全ての年齢層で「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」の割合が最も高い。「外国の言葉や文化を教えてほしい」は20歳代では11.9%であるが、70歳以上では4.4%となっており、年齢が高くなるにつれ割合が低くなっている。同様に「生活の中で感じたことを提案、発言してほしい」は20歳代では10.2%であるが、70歳以上では1.6%となっており、年齢が高くなるにつれ割合が低くなっている。
- 居住区別にみると、全ての居住区で「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」の割合が最も高い。その中で最も高いのは若松区の45.5%で、最も低いのは八幡東区の41.0%で、その差は4.5ポイントと差はみられない。他の項目も居住区間での大きな差はみられない。
- 職業別にみると、全ての職業で「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」の割合が最も高い。その中で最も高いのは自由業の47.6%で、最も低いのは学生の34.2%で、その差は13.4と職業間でやや差がある。「日本語や日本の文化を学んでほしい」は、学生(23.7%)と自由業(19.0%)で、「地域の活動に参加してほしい」は、公務員・教員(11.1%)と学生(10.5%)で比較的割合が高くなっている。

(6) 外国人市民とともに仲良く暮らすために関わりたいこと

問7 外国人市民とともに仲良く暮らすために、あなたが関わりたいことはありますか。(1つに)

外国人市民へは日本人市民と仲良く暮らすために関わりたいことを質問

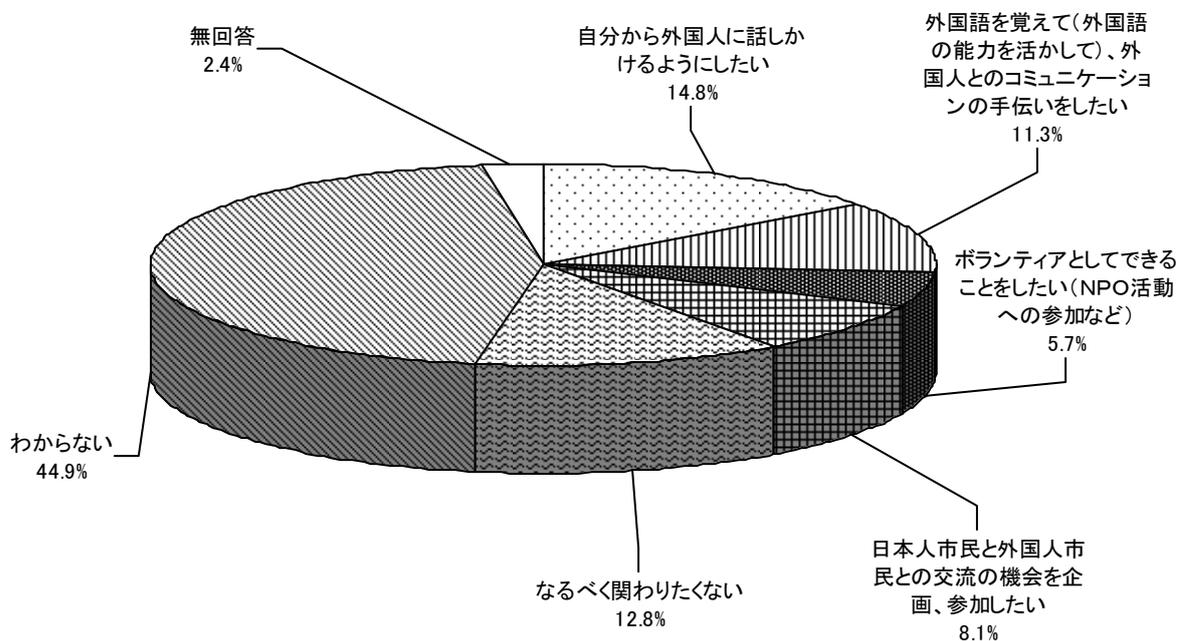
N : 1,941 人

() は外国人市民の内数

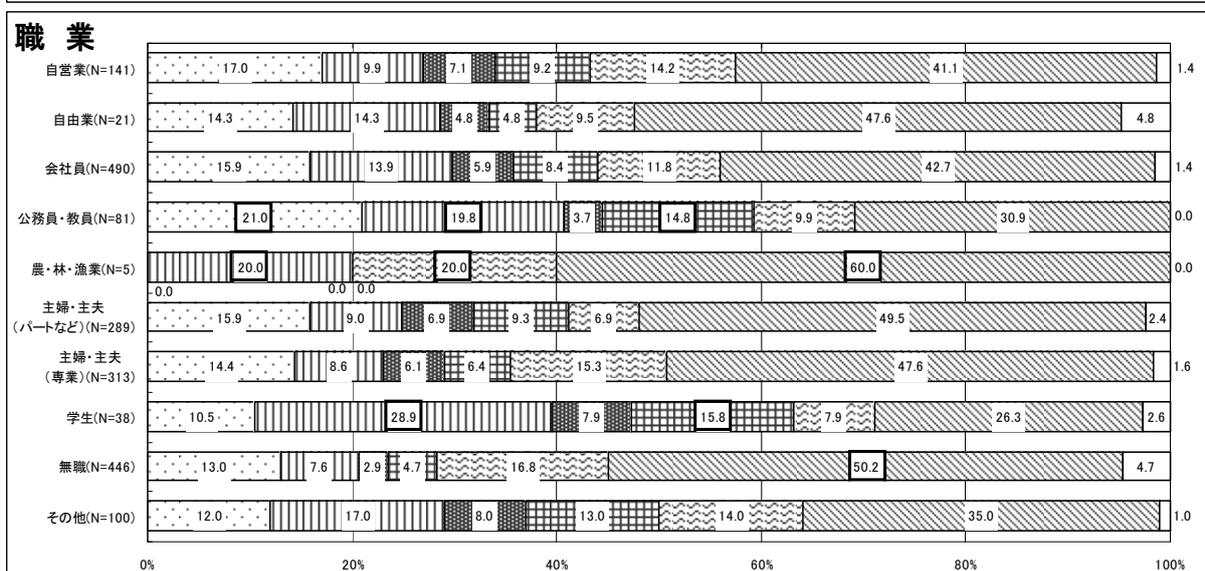
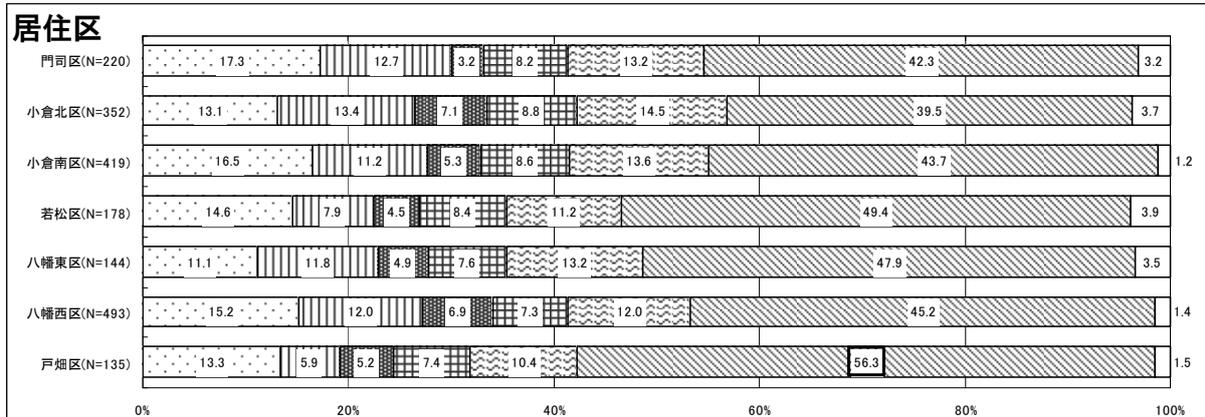
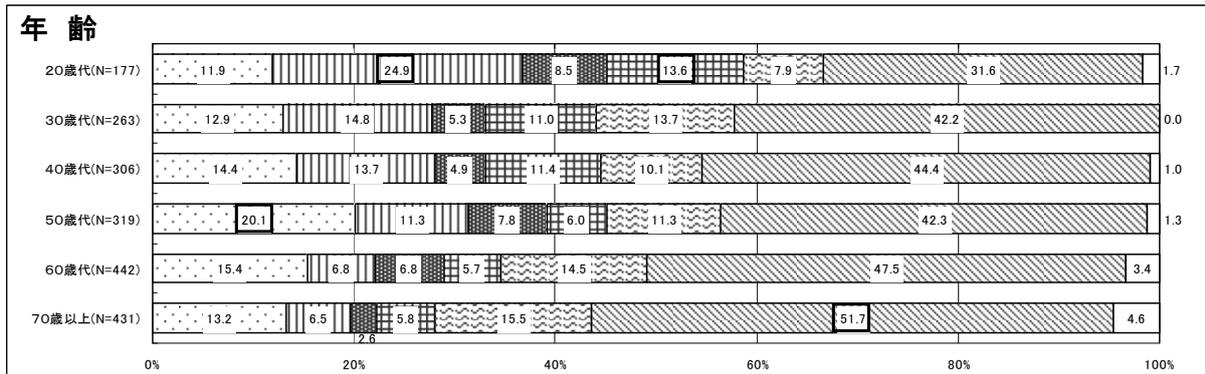
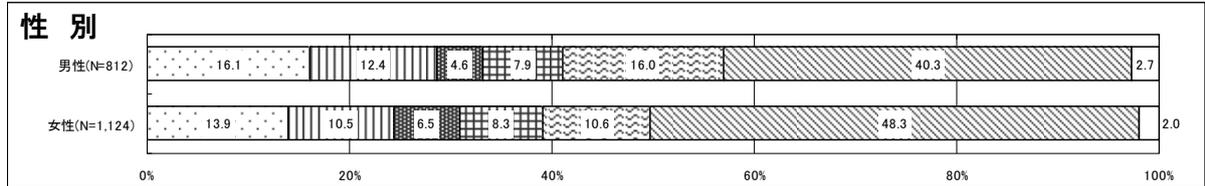
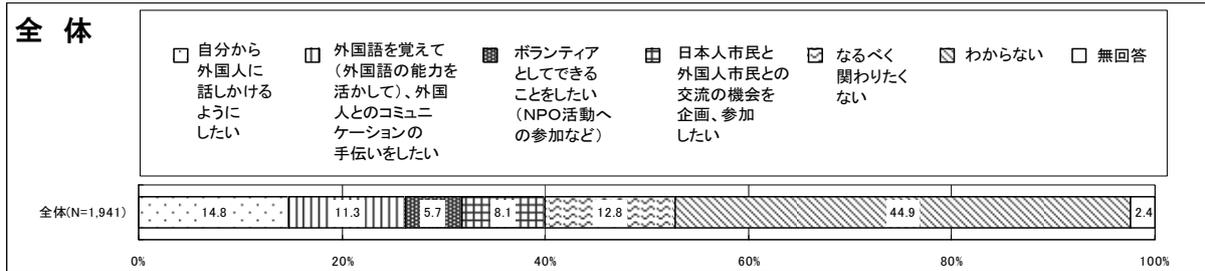
項目	回答数(人)	割合(%)
1 自分から外国人に話しかけるようにしたい (日本人に)	288(1)	14.8
2 外国語を覚えて(外国語の能力を活かして) 外国人との (日本語を) (外国人と日本人の) コミュニケーションの手伝いをしたい	220(2)	11.3
3 ボランティアとしてできることをしたい(NPO活動への参加など)	110(4)	5.7
4 日本人市民と外国人市民との交流の機会を企画、参加したい	157(3)	8.1
5 なるべく関わりたいくない	249	12.8
6 わからない	871(3)	44.9
無回答	46	2.4

外国人市民とともに仲良く暮らすために関わりたいことは、

- 1位 「わからない」(44.9%)
- 2位 「自分から外国人に話しかけるようにしたい」(14.8%)
- 3位 「なるべく関わりたいくない」(12.8%)



問7 外国人市民とともに仲良く暮らすために関わりたいこと



(注) 外国人市民には在留資格を回答していただいております。職業については回答していただいております。

太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

外国人市民とともに仲良く暮らすために関わりたいこと

【 全 体 的 傾 向 】

外国人市民とともに仲良く暮らすために関わりたいことについては、「わからない」(44.9%)をトップに、次いで「自分から外国人に話しかけるようにしたい」(14.8%)、「なるべく関わりたいくない」(12.8%)、「外国語を覚えて(外国語の能力を活かして)外国人とのコミュニケーションの手伝いをしたい」(11.3%)となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 性別にみると、男女とも「わからない」が最も高く、男性40.3%、女性48.3%と、大きな差はみられない。他の項目も同様に、性別による大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「わからない」は全年齢で最も高くなっている。その中で20歳代が31.6%で最も低く、70歳以上が51.7%で最も高く、ほぼ年齢が高くなるにつれ割合も高くなる傾向がみられる。一方、「外国語を覚えて(外国語の能力を活かして)外国人とのコミュニケーションの手伝いをしたい」は20歳代では24.9%であるが、70歳以上では6.5%となっており、年齢が高いほど割合が低くなっている。
- 居住区別にみると、全ての居住区で「わからない」が最も高い。その中で戸畑区(56.3%)が最も高く、小倉北区(39.5%)が最も低く、その差は16.8ポイントとやや差がみられる。他の項目は居住区間での大きな差はみられない。
- 職業別にみると、学生を除く全ての職業で「わからない」の割合が最も高い。中でも最も高いのは無職の50.2%で、最も低いのは学生の26.3%で、その差は23.9と職業間で差がある。なお、学生は「外国語を覚えて(外国語の能力を活かして)外国人とのコミュニケーションの手伝いをしたい」(28.9%)が、最も高い。「自分から外国人に話しかけるようにしたい」は、公務員・教員(21.0%)で比較的割合が高くなっている。

(7) 外国人市民とともに仲良く暮らすための活動を行う際、活動しやすい地域
【日本人市民のみへの質問】

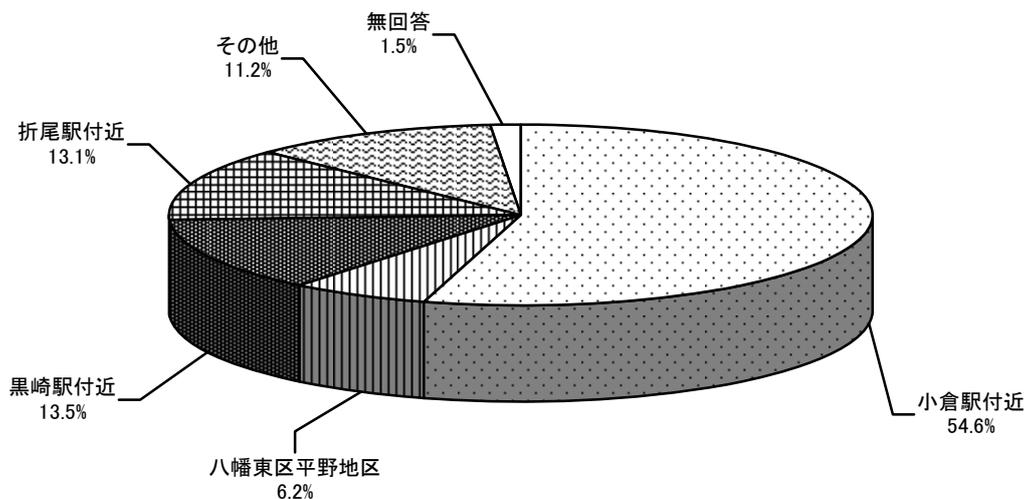
問8 (問7で3、4のいずれかをお答えになった方におたずねいたします)
その活動を行うにあたり、あなたの活動しやすい地域を選んでください。(1つに)

N : 260人

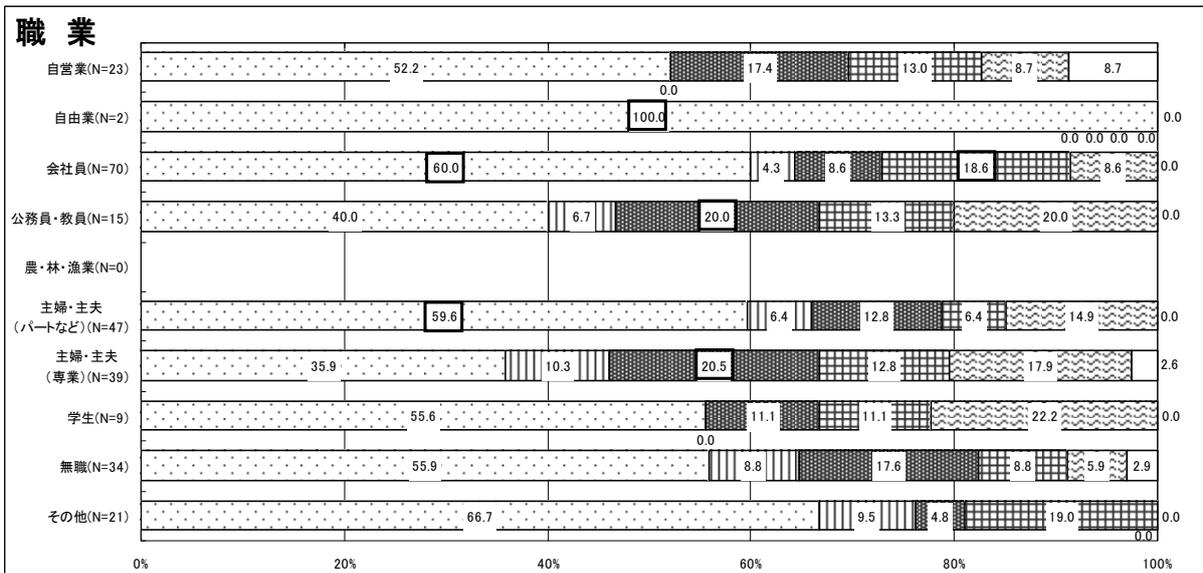
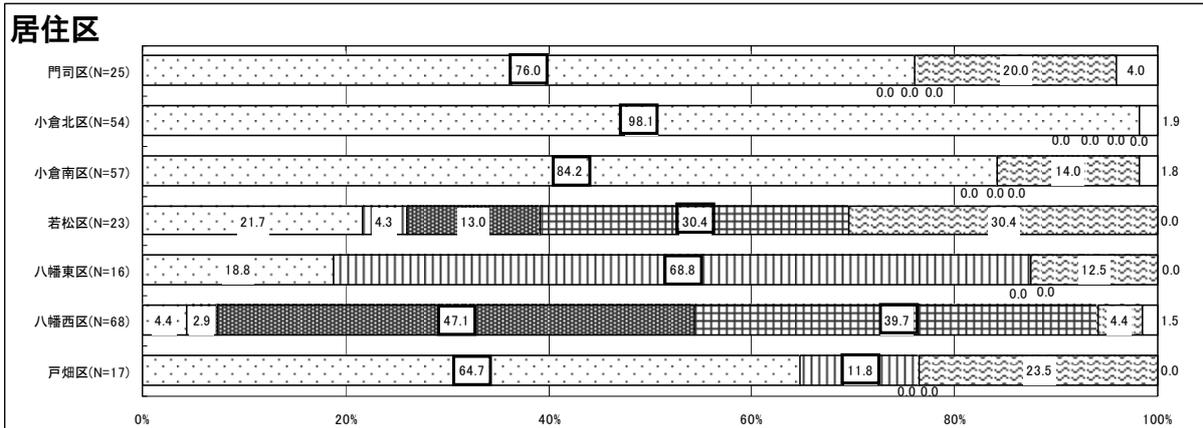
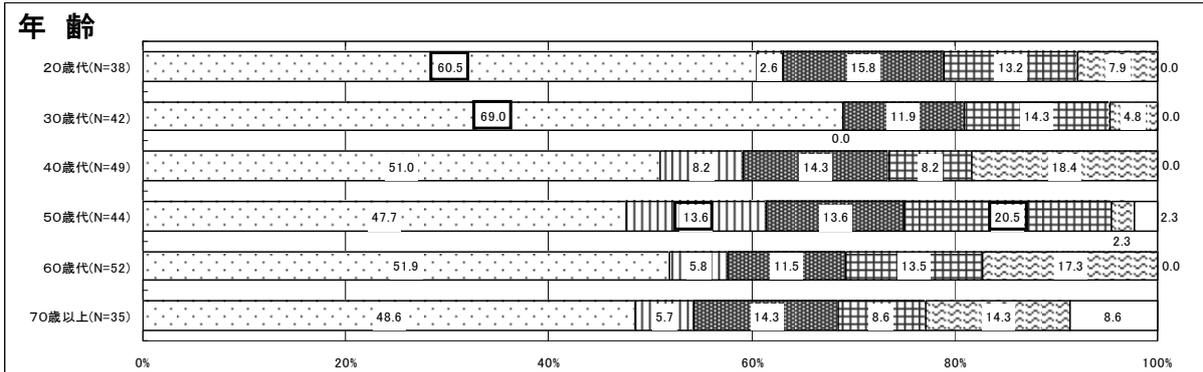
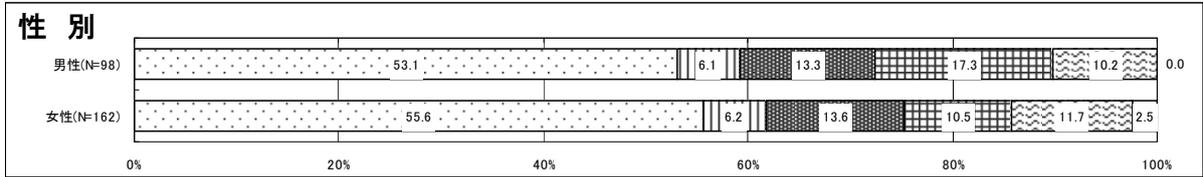
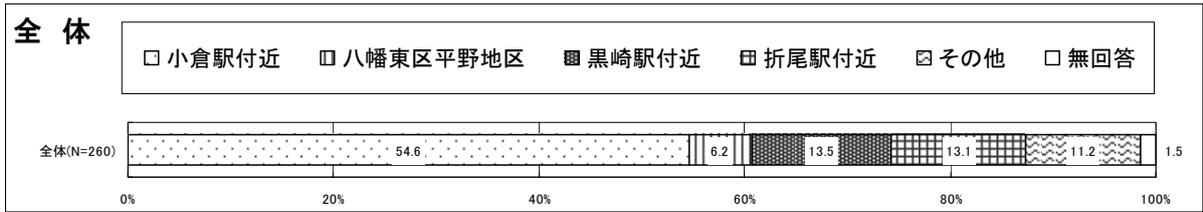
項目	回答数(人)	割合(%)
1 小倉駅付近	142	54.6
2 八幡東区平野地区	16	6.2
3 黒崎駅付近	35	13.5
4 折尾駅付近	34	13.1
5 その他	29	11.2
無回答	4	1.5

外国人市民とともに仲良く暮らすための活動を行う際、活動しやすい地域は、

- 1位 「小倉駅付近」(54.6%)
- 2位 「黒崎駅付近」(13.5%)
- 3位 「折尾駅付近」(13.1%)



問8 外国人市民とともに仲良く暮らすための活動を行う際、活動しやすい地域



(注) 外国人市民には在留資格を回答していただいております、職業については回答していただいております。

太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

外国人市民とともに仲良く暮らすための活動を行う際、活動しやすい地域については、「小倉駅付近」(54.6%)が過半数を超え、突出している。次いで、「黒崎駅付近」(13.5%)、僅差で「折尾駅付近」(13.1%)となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 性別にみると、男女とも「小倉駅付近」が最も高く、男性 53.1%、女性 55.6%と、差はみられない。他の地域も同様に、性別による大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「小倉駅付近」は全年齢で最も高い。その中でも 30 歳代が 69.0%で最も高く、次いで 20 歳代が 60.5%と、やや若年層のほうが割合が高い傾向がみられる。「八幡東区平野地区」は 50 歳代 13.6%で唯一 1 割を超えている。
- 居住区別にみると、「小倉駅付近」は小倉北区(98.1%)で圧倒的に高く、次いで小倉南区(84.2%)、門司区(76.0%)、戸畑区(64.7%)で高い割合となっている。「黒崎駅付近」は八幡西区(47.1%)で最も高く、次いで若松区(13.0%)となっている。「折尾駅付近」は八幡西区(39.7%)で高く、次いで若松区(30.4%)となっている。「八幡東区平野地区」は八幡東区(68.8%)で最も高く、次いで戸畑区(11.8%)となっている。
- 職業別にみると、「小倉駅付近」の割合が全ての職業で最も高い。最も高いのはその他の 66.7%で、最も低いのは主婦・主夫(専業)の 35.9%で、その差は 30.8 と職業間で差がある。「黒崎駅付近」は、主婦・主夫(専業)が 20.5%、公務員・教員が 20.0%で比較的割合が高くなっている。

(注)自由業及び学生については、本設問ではサンプル数が少ないため、コメントではふれないことにする。

(8) 外国人市民 (子ども) と日本人が同じ学校で学ぶことについて

問9 外国人市民 (子ども) と日本人が同じ学校で学ぶことについて、あなたはどのように思いますか。(1つに)

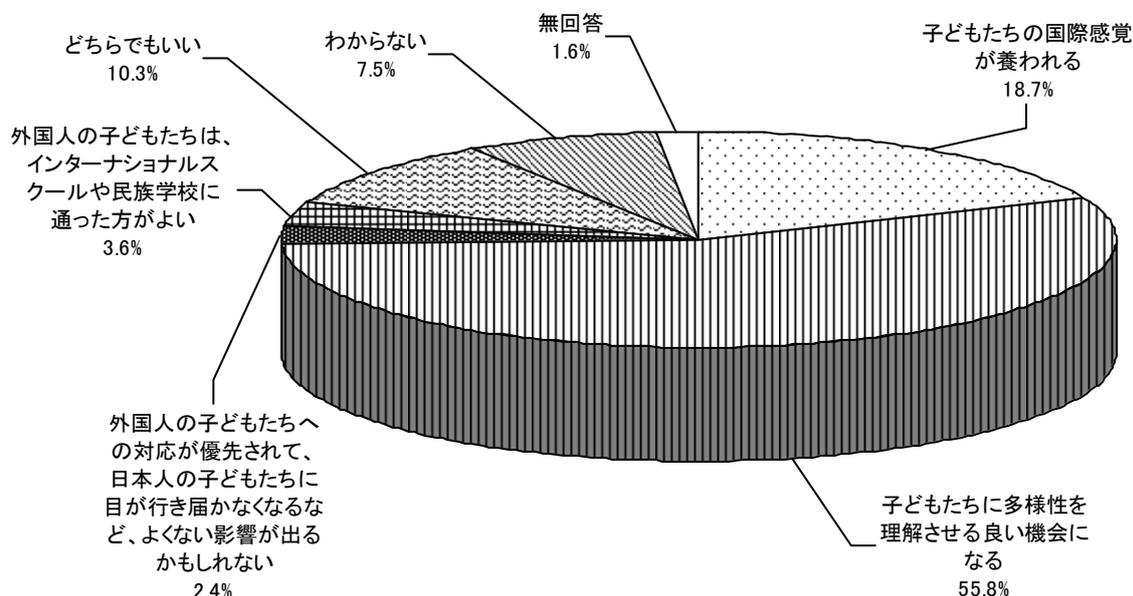
N : 1,941 人

() は外国人市民の内数

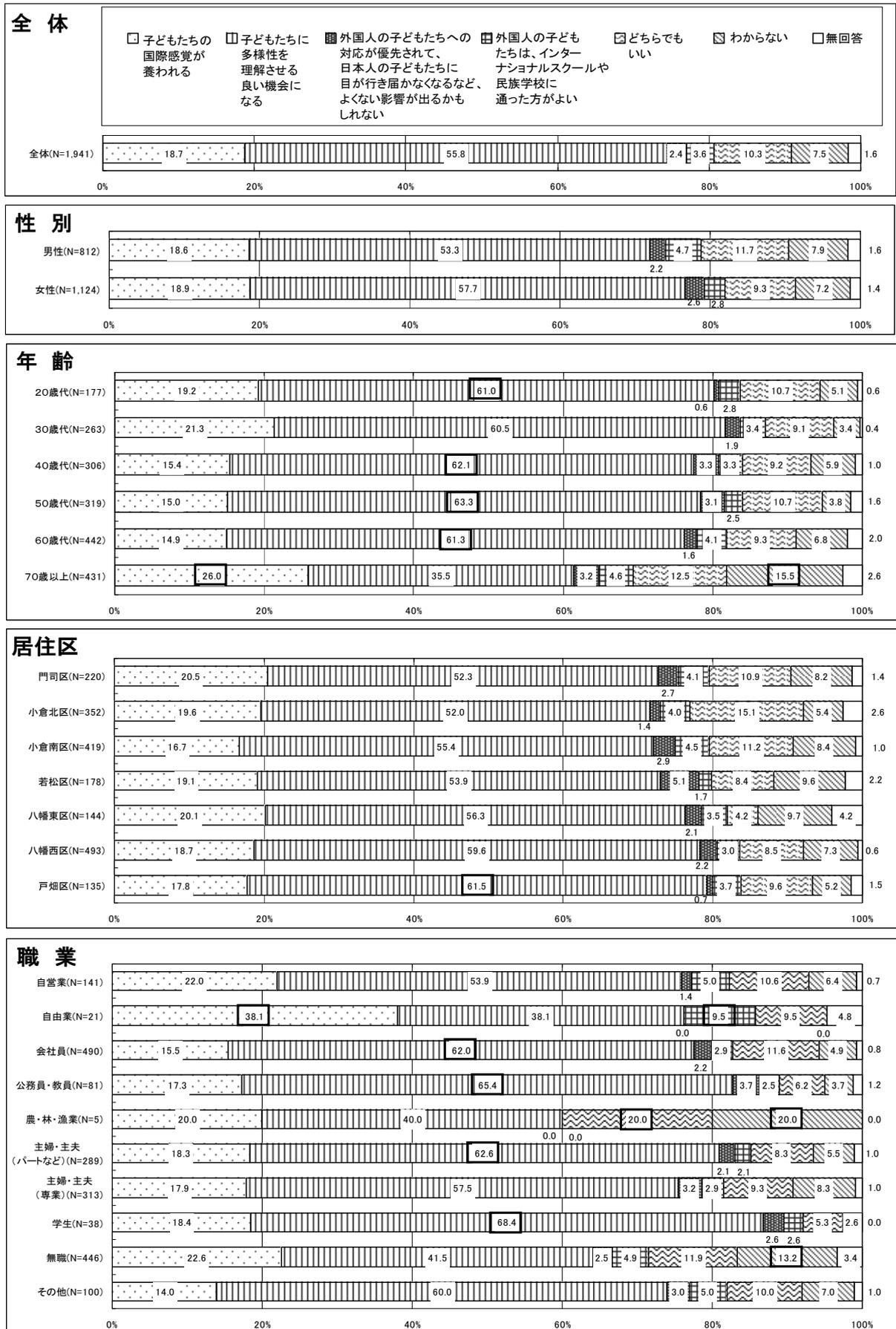
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 子どもたちの国際感覚が養われる	363(2)	18.7
2 子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる	1,084(7)	55.8
3 外国人の子どもたちへの対応が優先されて、日本人の子どもたちに目が行き届かなくなるなど、よくない影響が出るかもしれない	47	2.4
4 外国の子どもたちは、インターナショナルスクールや民族学校に通った方がよい	70(2)	3.6
5 どちらでもいい	200(2)	10.3
6 わからない	146	7.5
無回答	31	1.6

外国人市民 (子ども) と日本人が同じ学校で学ぶことについては、

- 1位 「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」(55.8%)
- 2位 「子どもたちの国際感覚が養われる」(18.7%)
- 3位 「どちらでもいい」(10.3%)



問9 外国人市民(子ども)と日本人が同じ学校で学ぶことについて



(注)外国人市民には在留資格を回答していただき、職業については回答していただいております。

太枠

全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

外国人市民（子ども）と日本人が同じ学校で学ぶことについては、「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」（55.8%）をトップに、「子どもたちの国際感覚が養われる」（18.7%）、「どちらでもいい」（10.3%）となっている。

「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」と「子どもたちの国際感覚が養われる」を合計した肯定層は 74.5%である。一方、「外国人の子どもたちへの対応が優先されて、日本人の子どもたちに目が行き届かなくなるなど、よくない影響が出るかもしれない」（2.4%）と「外国人の子どもたちは、インターナショナルスクールや民族学校に通った方がよい」（3.6%）を合計した否定層は 6.0%である。

肯定層（74.5%）が否定層（6.0%）を 68.5 ポイント上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 性別にみると、男女とも「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」が最も高く、男性 53.3%、女性 57.7%と、差はみられない。肯定層も、男性 71.9%、女性 76.6%と、性別による差はみられない。
- 年齢別にみると、「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」が 20 歳代から 60 歳代では 6 割を上回っているのに対し、70 歳以上では 35.5%となっており、年代による顕著な差がみられる。また、「わからない」が 20 歳代から 60 歳代では 7%以下であるのに対し、70 歳以上では 15.5%となっている。肯定層は若年層のほうが割合が高い傾向が、ややみられる。

肯定層の割合 20 歳代 80.2% 30 歳代 81.8% 40 歳代 75.5% 50 歳代 78.3%
60 歳代 76.2% 70 歳以上 61.5%

- 居住区別にみると、全ての居住区で「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」の割合が最も高い。戸畑区が 61.5%で最も高く、小倉北区が 52.0%で最も低く、差は 9.5 ポイントと大きな差はみられない。肯定層は戸畑区で 79.3%と最も高く、小倉北区で 71.6%と最も低くなっており、差は 7.7 ポイントとこちらも大きな差はみられない。
- 職業別にみると、全ての職業で「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」の割合が最も高い。最も高いのは学生の 68.4%で、最も低いのは自由業の 38.1%で、その差は 30.3 と職業間で差がある。なお、自由業は「子どもたちの国際感覚が養われる」が「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」と同率であり、全ての職業の中で最も高い。肯定層は学生で 86.8%と最も高く、無職で 64.1%と最も低くなっており、その差は 22.7 ポイントとこちらも職業間で差がある。

(9) 日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすいまちづくり推進に必要な取組み

問 10 日本人市民と外国人市民とが共に暮らしやすいまちづくりを進めるにあたって、どんな取組みに力を入れるべきだと思いますか。(主なもの3つに)

N : 1,941 人

() は外国人市民の内数

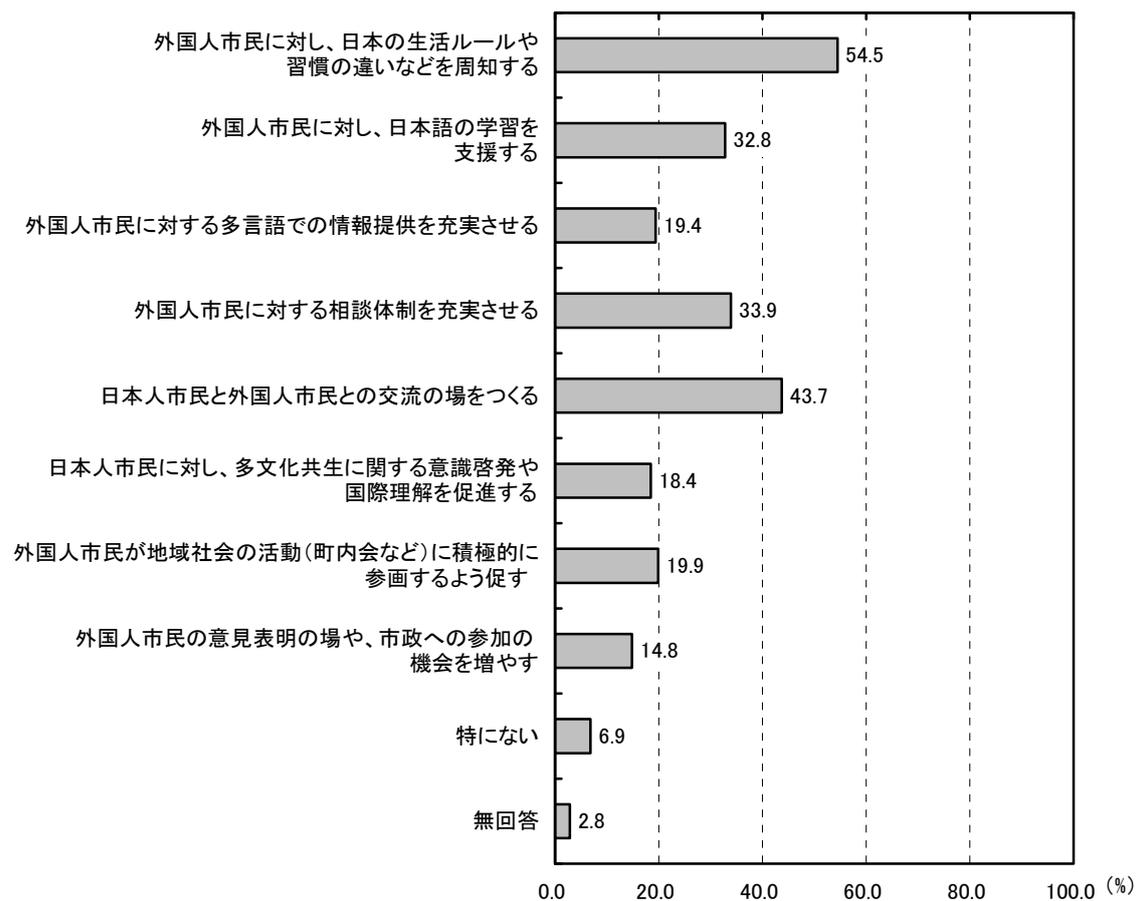
項目	回答数(人)	割合(%)
1 外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する	1,057(3)	54.5
2 外国人市民に対し、日本語の学習を支援する	637(2)	32.8
3 外国人市民に対する多言語での情報提供を充実させる	376(5)	19.4
4 外国人市民に対する相談体制を充実させる	658(7)	33.9
5 日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる	849(4)	43.7
6 日本人市民に対し、多文化共生に関する意識啓蒙や国際理解を促進する	358(4)	18.4
7 外国人市民が地域社会の活動(町内会など)に積極的に参画するよう促す	386(1)	19.9
8 外国人市民の意見表明や、市政への参加の機会を増やす	288(5)	14.8
9 特にない	133(1)	6.9
無回答	55	2.8

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすいまちづくり推進に必要な取組みは、

1位 「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する」
(54.5%)

2位 「日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる」(43.7%)

3位 「外国人市民に対する相談体制を充実させる」(33.9%)



問 10 日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすいまちづくり推進に必要な取組み

	サンプル数	外国人市民の生活ルールの違いなどを周知する	外国人市民に対し、日本語の学習を支援する	外国人市民に対する多言語での情報提供を充実させる	外国人市民に対する相談体制を充実させる	日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる	日本人市民に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する	外国人市民が地域社会の活動（町内会など）に積極的に参加するよう促す	外国人市民の意見表明の場や、市政への参加の機会を増やす	特になし	無回答	
全体	1,941	54.5	32.8	19.4	33.9	43.7	18.4	19.9	14.8	6.9	2.8	
性別	男性	812	57.5	32.1	16.7	34.0	40.0	19.7	14.8	6.5	2.8	
	女性	1,124	52.5	33.4	21.3	34.0	46.4	17.5	19.5	14.9	2.6	
年齢別	20歳代	177	50.8	35.6	25.4	37.9	49.7	25.4	15.8	20.9	3.4	0.6
	30歳代	263	65.0	39.9	20.2	35.4	51.0	24.7	17.5	11.8	1.5	0.0
	40歳代	306	57.8	34.0	27.8	44.4	46.4	20.3	18.6	13.1	2.6	1.0
	50歳代	319	58.6	34.5	23.8	37.0	46.4	20.4	17.6	16.3	3.1	0.9
	60歳代	442	51.1	31.0	17.4	30.3	43.0	16.1	24.4	15.2	8.1	3.2
	70歳以上	431	47.6	26.9	9.3	25.5	33.6	11.4	21.1	14.2	16.0	7.7
居住年数別	1年未満	88	53.4	39.8	22.7	38.6	42.0	23.9	14.8	14.8	6.8	1.1
	2年未満	62	54.8	30.6	21.0	43.5	48.4	25.8	16.1	16.1	3.2	1.6
	3年未満	70	61.4	35.7	11.4	44.3	47.1	22.9	12.9	25.7	2.9	1.4
	5年未満	149	57.0	38.3	24.2	37.6	43.6	20.8	14.8	10.1	8.1	0.7
	10年未満	207	55.6	32.9	24.2	36.2	51.2	19.8	19.8	17.9	4.3	1.4
	20年未満	404	58.2	33.7	18.3	34.7	41.6	19.8	23.3	16.3	4.5	2.0
	30年未満	363	52.1	33.9	24.8	31.4	45.2	16.8	16.3	14.3	6.3	3.3
	30年以上	596	51.8	29.0	14.3	30.4	41.1	15.3	23.2	12.9	10.2	4.5
居住区別	門司区	220	52.3	37.7	21.8	31.8	45.0	21.4	19.1	11.4	6.4	3.6
	小倉北区	352	53.7	33.5	20.5	32.7	41.8	17.3	16.8	15.9	6.3	4.3
	小倉南区	419	54.4	34.6	17.9	32.0	45.3	18.4	22.0	15.0	5.3	2.4
	若松区	178	55.1	29.8	18.0	34.8	44.4	19.7	18.5	15.2	7.9	3.9
	八幡東区	144	55.6	32.6	19.4	38.2	40.3	15.3	18.1	22.2	6.9	4.2
	八幡西区	493	56.4	30.8	18.1	36.1	44.0	17.4	21.9	13.2	8.1	1.4
	戸畑区	135	51.1	28.9	23.7	32.6	43.7	22.2	19.3	14.8	8.1	1.5
職業別	自営業	141	55.3	26.2	19.9	32.6	40.4	17.7	18.4	12.8	5.0	5.0
	自由業	21	61.9	33.3	14.3	38.1	38.1	0.0	23.8	19.0	4.8	4.8
	会社員	490	61.2	36.3	22.9	38.0	46.3	22.7	18.0	15.1	3.1	0.6
	公務員・教員	81	59.3	34.6	21.0	34.6	48.1	32.1	24.7	11.1	2.5	0.0
	農・林・漁業	5	40.0	40.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	主婦・主夫（パートなど）	289	55.0	31.8	22.1	34.3	48.8	19.0	21.1	15.9	4.8	1.4
	主婦・主夫（専業）	313	55.9	33.2	21.1	32.9	48.2	17.3	20.8	15.7	6.7	1.9
	学生	38	57.9	34.2	28.9	36.8	52.6	26.3	28.9	18.4	0.0	0.0
	無職	446	46.4	30.3	10.8	29.6	34.8	11.7	19.3	13.0	14.6	6.3
	その他	100	50.0	37.0	22.0	34.0	42.0	20.0	23.0	17.0	6.0	4.0

(注) 外国人市民には在留資格を回答していただき、職業については回答していただきません。
太字 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすいまちづくり推進に必要な取組みについては、「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する」(54.5%)をトップに、「日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる」(43.7%)、「外国人市民に対する相談体制を充実させる」(33.9%)、「外国人市民に対し、日本語の学習を支援する」(32.8%)となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 性別にみると、男女とも「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する」が最も高く、男性57.5%、女性52.5%と、大きな差はみられない。他の項目も同様に、性別による差はみられない。
- 年齢別にみると、「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する」は、全年齢で最も高くなっている。「日本人市民に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する」は20歳代では25.4%であるが、70歳以上では11.4%となっており、年齢が高いほど低くなる傾向がみられる。また、「特にない」は70歳以上で16.0%と突出している。
- 居住区別にみると、全ての居住区で「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する」が最も高い。八幡西区(56.4%)で最も高く、戸畑区(51.1%)で最も低く、その差は5.3ポイントと大きな差はみられない。「外国人市民の意見表明の場や、市政への参加の機会を増やす」は、八幡東区で22.2%と比較的高い割合を占めている。
- 職業別にみると、「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する」の割合が全ての職業で最も高い。最も高いのは自由業(61.9%)で、次いで会社員(61.2%)、公務員・教員(59.3%)となっている。「日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる」は、学生(52.6%)で比較的割合が高く、「日本人市民に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する」は、公務員・教員(32.1%)、学生(26.3%)で比較的割合が高くなっている。

(10) 多文化共生についての意見

問 11 多文化共生について、あなたのご意見を自由にお書きください。

「多文化共生」に対する市民からの意見は824件に上り、関心の高さがうかがえる。ここでは、その中から任意に抽出した18件の意見を掲載させていただくことにする。

昔の「島国根性」では世界についていけない。グローバル化を図る必要がある。日本人は世界に出ていくべきだが、少なくとも外国人に対しては大きな心で、開いた心で接触、つき合っていくことが必要と思う。

日本語の学習を強力に支援し、地域の人々と話ができる様にする事が第一。そののちにお互いがコミュニケーションをとる事により、地域社会の構成員としてやっていけるようになる。

仕事を求めて日本に来る人や、日本人と結婚して日本で生活する人などいますが、“初めて”の場所で孤独を感じず、困った事や疑問に感じたことをすぐ打ち開けることができる場所をもっと多く設置し、周知してほしい。もし私が反対の立場だとしたら、とても不安であるため、優しく丁寧に接してくれる人が身近にいたらとても心強いです。私もそんな存在になりたいです。

多文化を謳っているが公共施設や道路、店舗などに外国語表記が十分とは云えないのでは？英語を書けば良いなどの考えでは不十分で中国語、韓国語などアジアの隣国の人々への配慮が十分とは言えないと思います。

日本で生活する以上、外国人市民が日本の生活ルールや習慣になじむようにすることがまず大事だと思うが、それを地域の人が温い目で見、支援してあげるようなシステムができればよいと思う。

何もかも押し並べてというのではなく、日本の良さ、大切な物はきちんと残しつつ、外国文化の良い所を受け入れていくのは良い事だと思います。これからの子供は外国人と沢山接して国際感覚を身につける事は大切だと思います。

子供には、小さいうちから当たり前のように異文化に触れることのできる環境を作ってやりたいと思っています。より高度な語学教育に、先進的に取り組むことも多文化共生につながると思います。

むずかしい事は分かりませんが、一緒に働いているので、日本人とか、中国人とか、区別した事はありません。良く働いています。若いのに、すごく頑張ってくれています。

外国人が、単に同じ市や町に住んでいるだけでは、真の国際的交流があるとは言えません。異なる文化を、いかに調和させ互いの生活に活かす為に、もっと外国人と交わる場が必要と感じます。

北九州市は東アジア諸国と地理的に近いこともあり、旅行などで短期的に立ち寄る方々も多い都市だと思います。私は外国人市民だけでなく、普段は日本についてあまりなじみのない方々にも楽しんでもらえる都市づくり（外国語の看板を置いたり、北九州の歴史や文化を学べる施設を設置したり）を行うことも大切だと思います。

大人は固定観念や苦手意識が先に立つので中々、積極的な関わりは難しい気がするため（自分も含め）幼児や小学生等子供同士の関わりのお機会や交流の場を増やす事で、大人も自然と関わりに目を向けるきっかけにつながるのではないかと思います。親子で参加する外国人市民との交流企画等あれば、ぜひ参加してみたいと思います！

外国（アジア地域）に対して何かしら民族の優位性を感じ、見おろしている意識が見直される努力が必要ではないでしょうか。歴史を勉強し、多文化共生があたり前の共通認識となる事を希望します。

以前、バス停でアメリカ人の若い女性に思い切って拙ない英語で話しかけたことがあり、胸のアクセサリーがすてきだと云いましたら、日本語で返答され、はずかしいやらうれしいやらの経験があります。流暢に英語がしゃべれたらいつも思いますが、年令的（70才前）に無理です。小学校には外国人が来て、ゲーム等で交流があったり、ホームステイ等の受入れがあり、大変良いことだと思います。

外国人という言葉に対して私達は若干の差別や偏見を持っているが、それをなくす為にはやはり長い時間かかると思う。子供達から先ず、外国人に対する正しい知識や理解を深めていって、これからは国際化の時代なのだという意識を親や教師が教えていかねばならないと思う。

留学中の学生さんがレジ等でバイトしている姿をよく見かけます。対応が丁寧で好感が持てます。

外国人市民の方との交流の企画があれば参加したいと思いますが近くにはないので残念に思っています。もっとたくさんの場所で交流の企画があればと思います。

外国人と言っても、その国々のレベルは全く違うので、一言では表現できない。日本に住むのであれば、日本のルールを守って、その習慣になじむ事が一番大事な事。その上で、自国のスタイルを生かすことだと思います。

これからの日本は少子高齢化がさらに進み、外国人を受入れることがどうしても必要です。そのためには、制度的枠組として、多文化教育を位置づけることが重要となってきます。そして多文化共生の子供が学校へ入りさらに各家庭へと教育制度への関心が高まっていくよう期待します。

3 まとめ

近年、全国的な外国人の増加と定住化を背景に、国籍や民族などが異なる人が地域で共に生きていく「多文化共生」社会の実現が求められるようになった。

本市においても、外国人登録者数は、平成 22 年 3 月現在、1 万 1 千人を超えており、今後ともアジアからの留学生やビジネスマンをはじめとする外国人市民は、引き続き増加することが見込まれている。

そこで平成 22 年度の市民意識調査は「多文化共生」をテーマとして、市民の多文化共生に対する意識や要望を把握し、今後力を入れて取り組む具体的な施策の検討資料とするために実施された。

調査結果の具体的な内容、詳細についてはすでに指摘したとおりであるが、最後にここで調査結果の簡単な要約を行いながら本調査の報告を終わることとする。

(1) 多文化共生の認知度

多文化共生という言葉については、聞いたことが「ない」との回答が 7 割以上を占めており、北九州市民の中での認知度は現時点では高くないことが分かった。

(2) 地域の外国人とのつきあい

現在の地域の外国人とのつきあいは、「まったくつきあいがない」が 52.8%で最も高く、次いで「近所にいない」が 27.8%と、約 8 割の市民が地域において外国人と実際につきあう機会がない。つきあいがある場合も、「あいさつをする程度」が約 1 割で最も高いといった状況である。

一方、今後の意向としては、「まったくつきあわない」は約 5%とわずかであり、「あいさつをする程度」、「日常生活のことを話す」、「友人としてつきあう」、「家族同様につきあう」の各項目は、現在の割合をいずれも上回っている。今後は地域の外国人市民とのつきあいをより深めたいとする意欲が、市民の中にあることが窺える。

地域に外国人が住むことについても、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」が 5 割以上で最も高く、肯定的な受け止め方が基調となっている。ただし、「外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である」が 4 割以上、「外国人とのコミュニケーションを取ることが難しい」が 2 割以上と否定的な回答もあり、様々な懸念や心配を抱えている人も市民の中に相当数いることが分かった。

(3) トラブルが発生する原因と外国人市民に期待すること

日本人と外国人の間にトラブルが起こるとすれば、一番の原因はどこにあると思うかとの質問に対しては、「外国と日本の生活習慣などの違いなどが、問題になることがあるため」と考える人が 3 割以上と最も高い。

【トラブル発生の原因 トップ 3】

- 1 位 「外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため」(37.2%)
- 2 位 「言葉が通じないため」(18.8%)
- 3 位 「外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため」(14.8%)

外国人市民に期待することとしては、「日本の法律、生活ルール、習慣を守って欲しい」との回答が4割以上で最も高く、「あいさつや言葉を交わしてコミュニケーションをとってほしい」が2割弱で続いている。

【外国人市民に期待すること トップ3】

- 1位 「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」(43.2%)
- 2位 「あいさつや言葉を交わしてコミュニケーションをとって欲しい」(18.2%)
- 3位 「日本語や日本の文化を学んでほしい」(12.8%)

(4) 多文化共生への関わり

外国人とともに仲良く暮らすために関わりたいことは、「わからない」が4割以上で最も高く、関わり方について具体的なイメージが持てない人が多いことがわかる。

しかしながら、「自分から外国人に話しかけるようにしたい」(14.8%)、「外国語を覚えて(外国語の能力を活かして)外国人とのコミュニケーションの手伝いをしたい」(11.3%)と、4人に1人は会話を通して外国人市民と関わりたいと考えている。

「ボランティアとしてできることをしたい(NPO活動への参加など)」、「日本人市民と外国人市民との交流の機会を企画、参加したい」と回答した市民を対象に、その活動を行う際に活動しやすい地域を聞いたところ、「小倉駅付近」が5割以上を占め、次いで「黒崎駅付近」、「折尾駅付近」が1割強で続いた。

(5) 外国人市民の子どもが日本の学校で学ぶことについて

外国人市民の子どもと日本人が同じ学校で学ぶことについては、「子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる」(55.8%)、「子どもたちの国際感覚が養われる」(18.7%)と、7割以上の市民が肯定的に捉えている。一方、「外国人の子どもたちへの対応が優先されて、日本人の子どもたちに目が行き届かなくなるなど、よくない影響が出るかもしれない」や「外国人の子どもたちは、インターナショナルスクールや民族学校に通った方がよい」のように否定的に捉えている市民の割合は、6%となっている。

(6) 多文化共生推進に必要な取組み

日本人市民と外国人市民が共に暮らしやすいまちづくり推進に必要な取組みについては、「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する」が5割以上で最も高く、次いで「日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる」が4割以上、「外国人市民に対する相談体制を充実させる」、「外国市民に対し、日本語の学習を支援する」が3割以上を占めた。

多文化共生を実現するために、外国人市民への日本の生活ルールや習慣の違いに関する広報、日本人市民と外国人市民との交流の場の創出、外国人市民が日本での生活に適應するための支援体制の充実などの施策が期待されていることが分かった。

以上、今回調査のエッセンスをまとめとして要約してみた。本市は、これまで姉妹・友好都市間の国際交流をきっかけに、環境や上下水道などの分野における国際協力に取り組み、東アジア経済交流推進機構を創設するなど、アジア諸都市を中心に幅広い交流を拡大させてきた。また、観光やビジネス、留学などを通じて、異なる国の人々や文化に接する機会が格段に増え、市民レ

ベルの芸術・文化やスポーツ、学術などの交流も活発化しており、相互理解の必要性はますます高まっている。今後、多文化共生へ向けて官民が一体となって取り組むことが、「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」北九州の実現に繋がっていく。

最後になるが、この報告書が、本市の多文化共生に係わられる多くの方々並びに多くの協力市民各位にとって些少でも有用な情報を提供し、多文化共生に向けた施策検討の一助となることを念じつつ、まとめにかえることとしたい。

資料編

1 クロス集計表

問2 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに○)

	サンプル数	ある	ない	無回答	
全体	1,941 100.0	504 26.0	1,404 72.3	33 1.7	
性別	男性	812 100.0	226 27.8	572 70.4	14 1.7
	女性	1,124 100.0	276 24.6	830 73.8	18 1.6
	無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0
年齢別	20歳代	177 100.0	45 25.4	132 74.6	0 0.0
	30歳代	263 100.0	58 22.1	205 77.9	0 0.0
	40歳代	306 100.0	78 25.5	226 73.9	2 0.7
	50歳代	319 100.0	88 27.6	231 72.4	0 0.0
	60歳代	442 100.0	119 26.9	309 69.9	14 3.2
	70歳以上	431 100.0	115 26.7	300 69.6	16 3.7
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	居住年数別	1年未満	88 100.0	24 27.3	63 71.6
2年未満		62 100.0	18 29.0	43 69.4	1 1.6
3年未満		70 100.0	18 25.7	51 72.9	1 1.4
5年未満		149 100.0	33 22.1	116 77.9	0 0.0
10年未満		207 100.0	47 22.7	159 76.8	1 0.5
20年未満		404 100.0	106 26.2	294 72.8	4 1.0
30年未満		363 100.0	86 23.7	273 75.2	4 1.1
30年以上		596 100.0	171 28.7	405 68.0	20 3.4
無回答		2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
居住区別		門司区	220 100.0	57 25.9	159 72.3
	小倉北区	352 100.0	103 29.3	245 69.6	4 1.1
	小倉南区	419 100.0	100 23.9	311 74.2	8 1.9
	若松区	178 100.0	56 31.5	120 67.4	2 1.1
	八幡東区	144 100.0	35 24.3	105 72.9	4 2.8
	八幡西区	493 100.0	120 24.3	362 73.4	11 2.2
	戸畑区	135 100.0	33 24.4	102 75.6	0 0.0

	サンプル数	ある	ない	無回答	
全体	1,928 100.0	499 25.9	1,396 72.4	33 1.7	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	38 27.0	99 70.2	4 2.8
	自由業	21 100.0	6 28.6	15 71.4	0 0.0
	会社員	490 100.0	114 23.3	373 76.1	3 0.6
	公務員・教員	81 100.0	41 50.6	40 49.4	0 0.0
	農・林・漁業	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	72 24.9	214 74.0	3 1.0
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	69 22.0	236 75.4	8 2.6
	学生	38 100.0	13 34.2	25 65.8	0 0.0
	無職	446 100.0	111 24.9	321 72.0	14 3.1
	その他	100 100.0	33 33.0	67 67.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0

問3 あなたは現在、地域の外国人とどのようなつきあいがありますか。また、今後どのように接していきたいと思いますか(○はそれぞれ1つ)【現在】

	サンプル数	まったくつきあいが ない	あいさつをする 程度	日常生活のことを 話している	友人としてつきあ っている	家族同様に親しく つきあっている	親族に外国人が いる	近所にいない	無 回 答		
全体	1,941 100.0	1,024 52.8	211 10.9	44 2.3	63 3.2	8 0.4	39 2.0	540 27.8	12 0.6		
性別	男性	812 100.0	441 54.3	97 11.9	16 2.0	26 3.2	3 0.4	13 1.6	216 26.6	0 0.0	
	女性	1,124 100.0	582 51.8	114 10.1	28 2.5	37 3.3	5 0.4	26 2.3	322 28.6	10 0.9	
	無回答	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 0.0	
年齢別	20歳代	177 100.0	91 51.4	20 11.3	7 4.0	9 5.1	2 1.1	2 1.1	46 26.0	0 0.0	
	30歳代	263 100.0	151 57.4	31 11.8	7 2.7	5 1.9	0 0.0	9 3.4	60 22.8	0 0.0	
	40歳代	306 100.0	144 47.1	43 14.1	7 2.3	12 3.9	2 0.7	4 1.3	92 30.1	2 0.7	
	50歳代	319 100.0	180 56.4	32 10.0	10 3.1	7 2.2	2 0.6	5 1.6	83 26.0	0 0.0	
	60歳代	442 100.0	230 52.0	53 12.0	7 1.6	18 4.1	1 0.2	12 2.7	120 27.1	1 0.2	
	70歳以上	431 100.0	226 52.4	32 7.4	6 1.4	12 2.8	1 0.2	7 1.6	139 32.3	8 1.9	
	無回答	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	
	居住年数別	1年未満	88 100.0	46 52.3	8 9.1	2 2.3	2 2.3	1 1.1	1 1.1	28 31.8	0 0.0
		2年未満	62 100.0	32 51.6	6 9.7	1 1.6	3 4.8	0 0.0	3 4.8	17 27.4	0 0.0
3年未満		70 100.0	39 55.7	9 12.9	1 1.4	3 4.3	1 1.4	0 0.0	17 24.3	0 0.0	
5年未満		149 100.0	83 55.7	16 10.7	4 2.7	9 6.0	0 0.0	4 2.7	33 22.1	0 0.0	
10年未満		207 100.0	107 51.7	26 12.6	10 4.8	5 2.4	2 1.0	2 1.0	55 26.6	0 0.0	
20年未満		404 100.0	214 53.0	46 11.4	8 2.0	12 3.0	3 0.7	5 1.2	113 28.0	3 0.7	
30年未満		363 100.0	201 55.4	47 12.9	8 2.2	10 2.8	1 0.3	4 1.1	88 24.2	4 1.1	
30年以上		596 100.0	301 50.5	53 8.9	10 1.7	19 3.2	0 0.0	20 3.4	189 31.7	4 0.7	
無回答		2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	
居住区別	門司区	220 100.0	116 52.7	21 9.5	1 0.5	7 3.2	1 0.5	6 2.7	67 30.5	1 0.5	
	小倉北区	352 100.0	180 51.1	52 14.8	11 3.1	17 4.8	0 0.0	11 3.1	78 22.2	3 0.9	
	小倉南区	419 100.0	222 53.0	31 7.4	9 2.1	11 2.6	0 0.0	5 1.2	137 32.7	4 1.0	
	若松区	178 100.0	95 53.4	21 11.8	2 1.1	3 1.7	2 1.1	5 2.8	49 27.5	1 0.6	
	八幡東区	144 100.0	76 52.8	13 9.0	2 1.4	7 4.9	1 0.7	2 1.4	41 28.5	2 1.4	
	八幡西区	493 100.0	261 52.9	59 12.0	13 2.6	14 2.8	3 0.6	9 1.8	133 27.0	1 0.2	
	戸畑区	135 100.0	74 54.8	14 10.4	6 4.4	4 3.0	1 0.7	1 0.7	35 25.9	0 0.0	

	サンプル数	まったくつきあいが ない	あいさつをする 程度	日常生活のことを 話している	友人としてつきあ っている	家族同様に親しく つきあっている	親族に外国人が いる	近所にいない	無 回 答	
全体	1,928 100.0	1,024 53.1	210 10.9	43 2.2	58 3.0	7 0.4	34 1.8	540 28.0	12 0.6	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	73 51.8	24 17.0	3 2.1	8 5.7	0 0.0	3 2.1	30 21.3	0 0.0
	自由業	21 100.0	9 42.9	3 14.3	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	8 38.1	0 0.0
	会社員	490 100.0	279 56.9	62 12.7	10 2.0	12 2.4	2 0.4	6 1.2	119 24.3	0 0.0
	公務員・教員	81 100.0	29 35.8	13 16.0	5 6.2	3 3.7	0 0.0	2 2.5	29 35.8	0 0.0
	農・林・漁業	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	142 49.1	36 12.5	14 4.8	10 3.5	1 0.3	9 3.1	75 26.0	2 0.7
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	168 53.7	23 7.3	2 0.6	10 3.2	1 0.3	7 2.2	99 31.6	3 1.0
	学生	38 100.0	20 52.6	5 13.2	1 2.6	2 5.3	0 0.0	0 0.0	10 26.3	0 0.0
	無職	446 100.0	253 56.7	36 8.1	5 1.1	7 1.6	2 0.4	6 1.3	131 29.4	6 1.3
	その他	100 100.0	48 48.0	6 6.0	3 3.0	5 5.0	1 1.0	1 1.0	36 36.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0

問3 あなたは現在、地域の外国人とどのようなつきあいがありますか。また、今後どのように接していきたいと思いますか(○はそれぞれ1つ)【今後】

	サンプル数	まったくつきあわない	あいさつをする程度	日常生活のことを話す	友人としてつきあう	親しくつきあう	家族同様にもしくは親族として	わからない	無回答
全体	1,941 100.0	101 5.2	516 26.6	203 10.5	235 12.1	53 2.7	809 41.7	24 1.2	
性別	男性	812 100.0	47 5.8	193 23.8	91 11.2	97 11.9	23 2.8	355 43.7	6 0.7
	女性	1,124 100.0	54 4.8	322 28.6	111 9.9	137 12.2	30 2.7	454 40.4	16 1.4
	無回答	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	4 0.0
年齢別	20歳代	177 100.0	10 5.6	32 18.1	18 10.2	33 18.6	6 3.4	78 44.1	0 0.0
	30歳代	263 100.0	16 6.1	46 17.5	32 12.2	44 16.7	7 2.7	117 44.5	1 0.4
	40歳代	306 100.0	10 3.3	74 24.2	28 9.2	43 14.1	6 2.0	142 46.4	3 1.0
	50歳代	319 100.0	9 2.8	98 30.7	36 11.3	33 10.3	10 3.1	131 41.1	2 0.6
	60歳代	442 100.0	9 2.0	126 28.5	59 13.3	47 10.6	15 3.4	180 40.7	6 1.4
	70歳以上	431 100.0	46 10.7	140 32.5	30 7.0	34 7.9	9 2.1	161 37.4	11 2.6
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	居住年数別	1年未満	88 100.0	6 6.8	20 22.7	11 12.5	9 10.2	1 1.1	40 45.5
2年未満	62 100.0	4 6.5	15 24.2	6 9.7	12 19.4	1 1.6	22 35.5	2 3.2	
3年未満	70 100.0	4 5.7	16 22.9	9 12.9	11 15.7	1 1.4	29 41.4	0 0.0	
5年未満	149 100.0	3 2.0	38 25.5	14 9.4	23 15.4	5 3.4	65 43.6	1 0.7	
10年未満	207 100.0	8 3.9	51 24.6	25 12.1	26 12.6	4 1.9	92 44.4	1 0.5	
20年未満	404 100.0	20 5.0	106 26.2	46 11.4	49 12.1	9 2.2	170 42.1	4 1.0	
30年未満	363 100.0	16 4.4	106 29.2	36 9.9	39 10.7	8 2.2	153 42.1	5 1.4	
30年以上	596 100.0	40 6.7	164 27.5	56 9.4	65 10.9	24 4.0	238 39.9	9 1.5	
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	
居住区別	門司区	220 100.0	10 4.5	61 27.7	27 12.3	27 12.3	5 2.3	85 38.6	5 2.3
	小倉北区	352 100.0	22 6.3	95 27.0	30 8.5	50 14.2	9 2.6	143 40.6	3 0.9
	小倉南区	419 100.0	18 4.3	104 24.8	36 8.6	60 14.3	11 2.6	183 43.7	7 1.7
	若松区	178 100.0	13 7.3	49 27.5	17 9.6	14 7.9	6 3.4	77 43.3	2 1.1
	八幡東区	144 100.0	12 8.3	43 29.9	20 13.9	13 9.0	2 1.4	53 36.8	1 0.7
	八幡西区	493 100.0	21 4.3	126 25.6	57 11.6	60 12.2	17 3.4	208 42.2	4 0.8
	戸畑区	135 100.0	5 3.7	38 28.1	16 11.9	11 8.1	3 2.2	60 44.4	2 1.5

	サンプル数	まったくつきあわない	あいさつをする程度	日常生活のことを話す	友人としてつきあう	親しくつきあう	家族同様にもしくは親族として	わからない	無回答
全体	1,928 100.0	101 5.2	515 26.7	202 10.5	230 11.9	47 2.4	809 42.0	24 1.2	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	5 3.5	36 25.5	21 14.9	22 15.6	3 2.1	51 36.2	3 2.1
	自由業	21 100.0	0 0.0	6 28.6	1 4.8	4 19.0	0 0.0	10 47.6	0 0.0
	会社員	490 100.0	19 3.9	104 21.2	48 9.8	70 14.3	13 2.7	233 47.6	3 0.6
	公務員・教員	81 100.0	7 8.6	18 22.2	12 14.8	12 14.8	4 4.9	28 34.6	0 0.0
	農・林・漁業	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	9 3.1	83 28.7	34 11.8	39 13.5	8 2.8	113 39.1	3 1.0
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	12 3.8	93 29.7	36 11.5	32 10.2	8 2.6	128 40.9	4 1.3
	学生	38 100.0	1 2.6	14 36.8	7 18.4	6 15.8	0 0.0	10 26.3	0 0.0
	無職	446 100.0	44 9.9	139 31.2	32 7.2	31 7.0	7 1.6	183 41.0	10 2.2
	その他	100 100.0	4 4.0	20 20.0	11 11.0	11 11.0	4 4.0	50 50.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0

問4 あなたは、地域に外国人が住むことについて、どう思いますか。(3つまで○)
【日本人市民のみへの質問】

	サンプル数	外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える	まちに活気が出る	地域の経済的な発展につながる	外国人とのコミュニケーションをとることが難しい	外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である	外国人とのコミュニケーションをとることが難しい	外国人語対応の看板設置など、社会的負担が増える	わからない	無回答
全体	1,928 100.0	1,078 55.9	276 14.3	365 18.9	480 24.9	812 42.1	166 8.6	238 12.3	22 1.1	
性別	男性	806 100.0	424 52.6	118 14.6	162 20.1	192 23.8	364 45.2	80 9.9	92 11.4	6 0.7
	女性	1,117 100.0	652 58.4	158 14.1	203 18.2	288 25.8	447 40.0	85 7.6	145 13.0	15 1.3
	無回答	5 100.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
年齢別	20歳代	176 100.0	120 68.2	23 13.1	47 26.7	48 27.3	66 37.5	16 9.1	17 9.7	1 0.6
	30歳代	261 100.0	171 65.5	31 11.9	51 19.5	65 24.9	123 47.1	21 8.0	16 6.1	0 0.0
	40歳代	304 100.0	185 60.9	49 16.1	58 19.1	79 26.0	148 48.7	30 9.9	22 7.2	1 0.3
	50歳代	319 100.0	197 61.8	52 16.3	64 20.1	80 25.1	142 44.5	23 7.2	30 9.4	1 0.3
	60歳代	437 100.0	239 54.7	64 14.6	78 17.8	110 25.2	171 39.1	30 6.9	53 12.1	4 0.9
	70歳以上	428 100.0	165 38.6	57 13.3	66 15.4	98 22.9	162 37.9	45 10.5	100 23.4	14 3.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3
居住年数別	1年未満	87 100.0	60 69.0	13 14.9	15 17.2	16 18.4	40 46.0	6 6.9	7 8.0	0 0.0
	2年未満	62 100.0	35 56.5	10 16.1	12 19.4	16 25.8	27 43.5	4 6.5	5 8.1	0 0.0
	3年未満	68 100.0	48 70.6	10 14.7	13 19.1	18 26.5	33 48.5	9 13.2	5 7.4	0 0.0
	5年未満	149 100.0	81 54.4	14 9.4	33 22.1	37 24.8	72 48.3	11 7.4	16 10.7	0 0.0
	10年未満	207 100.0	125 60.4	30 14.5	41 19.8	49 23.7	85 41.1	12 5.8	27 13.0	0 0.0
	20年未満	402 100.0	246 61.2	63 15.7	81 20.1	105 26.1	165 41.0	38 9.5	41 10.2	8 2.0
	30年未満	362 100.0	199 55.0	43 11.9	66 18.2	96 26.5	147 40.6	30 8.3	43 11.9	4 1.1
	30年以上	589 100.0	283 48.0	93 15.8	104 17.7	143 24.3	243 41.3	55 9.3	94 16.0	9 1.5
	無回答	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0
居住区別	門司区	218 100.0	127 58.3	38 17.4	47 21.6	52 23.9	93 42.7	20 9.2	26 11.9	6 2.8
	小倉北区	347 100.0	180 51.9	44 12.7	52 15.0	78 22.5	145 41.8	28 8.1	48 13.8	4 1.2
	小倉南区	418 100.0	242 57.9	55 13.2	79 18.9	97 23.2	183 43.8	38 9.1	53 12.7	5 1.2
	若松区	178 100.0	89 50.0	27 15.2	38 21.3	49 27.5	73 41.0	12 6.7	28 15.7	1 0.6
	八幡東区	142 100.0	73 51.4	24 16.9	27 19.0	44 31.0	63 44.4	20 14.1	21 14.8	1 0.7
	八幡西区	490 100.0	285 58.2	62 12.7	92 18.8	125 25.5	210 42.9	36 7.3	50 10.2	4 0.8
	戸畑区	135 100.0	82 60.7	26 19.3	30 22.2	35 25.9	45 33.3	12 8.9	12 8.9	1 0.7

	サンプル数	外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える	まちに活気が出る	地域の経済的な発展につながる	外国人とのコミュニケーションをとることが難しい	外国人とのコミュニケーションをとることが難しい	外国人語対応の看板設置など、社会的負担が増える	わからない	無回答	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	70 49.6	28 19.9	24 17.0	26 18.4	61 43.3	8 5.7	11 7.8	2 1.4
	自由業	21 100.0	14 66.7	3 14.3	2 9.5	5 23.8	9 42.9	1 4.8	2 9.5	0 0.0
	会社員	490 100.0	296 60.4	72 14.7	103 21.0	121 24.7	237 48.4	51 10.4	39 8.0	1 0.2
	公務員・教員	81 100.0	51 63.0	14 17.3	20 24.7	19 23.5	38 46.9	6 7.4	4 4.9	0 0.0
	農・林・漁業	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	189 65.4	35 12.1	51 17.6	71 24.6	121 41.9	24 8.3	30 10.4	1 0.3
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	182 58.1	47 15.0	60 19.2	82 26.2	127 40.6	21 6.7	44 14.1	5 1.6
	学生	38 100.0	29 76.3	3 7.9	9 23.7	11 28.9	11 28.9	5 13.2	3 7.9	1 2.6
	無職	446 100.0	177 39.7	53 11.9	71 15.9	109 24.4	171 38.3	43 9.6	93 20.9	11 2.5
	その他	100 100.0	66 66.0	20 20.0	24 24.0	34 34.0	34 34.0	6 6.0	11 11.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0

問5 日本人と外国人との間にトラブルが起るとすれば、一番の原因はどこにあると思いますか(1つに○)

	サンプル数	日本人が、外国人の生活習慣や文化を理解していないため	外国人が、日本の生活習慣や決まりを理解していないため	外国と日本の生活習慣の違いなど	言葉が通じないため	普段からお互いにコミュニケーションをとっていないため	その他	わからない	無回答	
全体	1,941 100.0	156 8.0	288 14.8	722 37.2	365 18.8	255 13.1	33 1.7	113 5.8	9 0.5	
性別	男性	812 100.0	72 8.9	141 17.4	285 35.1	136 16.7	109 13.4	21 2.6	46 5.7	2 0.2
	女性	1,124 100.0	84 7.5	147 13.1	436 38.8	227 20.2	146 13.0	12 1.1	66 5.9	6 0.5
	無回答	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
年齢別	20歳代	177 100.0	10 5.6	16 9.0	89 50.3	23 13.0	27 15.3	2 1.1	10 5.6	0 0.0
	30歳代	263 100.0	19 7.2	46 17.5	112 42.6	40 15.2	32 12.2	8 3.0	6 2.3	0 0.0
	40歳代	306 100.0	22 7.2	51 16.7	123 40.2	37 12.1	56 18.3	8 2.6	9 2.9	0 0.0
	50歳代	319 100.0	22 6.9	62 19.4	123 38.6	59 18.5	43 13.5	3 0.9	7 2.2	0 0.0
	60歳代	442 100.0	36 8.1	62 14.0	165 37.3	92 20.8	59 13.3	4 0.9	23 5.2	1 0.2
	70歳以上	431 100.0	47 10.9	51 11.8	109 25.3	114 26.5	37 8.6	8 1.9	58 13.5	7 1.6
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	居住年数別	1年未満	88 100.0	5 5.7	12 13.6	41 46.6	12 13.6	12 13.6	2 2.3	4 4.5
2年未満		62 100.0	6 9.7	11 17.7	27 43.5	9 14.5	7 11.3	0 0.0	2 3.2	0 0.0
3年未満		70 100.0	5 7.1	9 12.9	24 34.3	17 24.3	11 15.7	0 0.0	4 5.7	0 0.0
5年未満		149 100.0	11 7.4	26 17.4	65 43.6	17 11.4	21 14.1	1 0.7	7 4.7	1 0.7
10年未満		207 100.0	20 9.7	33 15.9	76 36.7	32 15.5	34 16.4	6 2.9	6 2.9	0 0.0
20年未満		404 100.0	29 7.2	70 17.3	153 37.9	76 18.8	50 12.4	8 2.0	17 4.2	1 0.2
30年未満		363 100.0	24 6.6	41 11.3	147 40.5	71 19.6	47 12.9	5 1.4	25 6.9	3 0.8
30年以上		596 100.0	56 9.4	86 14.4	188 31.5	131 22.0	73 12.2	11 1.8	48 8.1	3 0.5
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	
居住区別	門司区	220 100.0	19 8.6	35 15.9	77 35.0	45 20.5	21 9.5	5 2.3	17 7.7	1 0.5
	小倉北区	352 100.0	33 9.4	55 15.6	129 36.6	65 18.5	45 12.8	11 3.1	13 3.7	1 0.3
	小倉南区	419 100.0	26 6.2	50 11.9	162 38.7	86 20.5	58 13.8	8 1.9	26 6.2	3 0.7
	若松区	178 100.0	11 6.2	21 11.8	77 43.3	31 17.4	23 12.9	2 1.1	12 6.7	1 0.6
	八幡東区	144 100.0	8 5.6	26 18.1	43 29.9	30 20.8	22 15.3	2 1.4	11 7.6	2 1.4
	八幡西区	493 100.0	46 9.3	80 16.2	179 36.3	87 17.6	70 14.2	3 0.6	27 5.5	1 0.2
	戸畑区	135 100.0	13 9.6	21 15.6	55 40.7	21 15.6	16 11.9	2 1.5	7 5.2	0 0.0

	サンプル数	日本人が、外国人の生活習慣や文化を理解していないため	外国人が、日本の生活習慣や決まりを理解していないため	外国と日本の生活習慣の違いなど	言葉が通じないため	普段からお互いにコミュニケーションをとっていないため	その他	わからない	無回答	
全体	1,928 100.0	155 8.0	287 14.9	716 37.1	364 18.9	252 13.1	33 1.7	112 5.8	9 0.5	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	14 9.9	26 18.4	47 33.3	26 18.4	18 12.8	3 2.1	7 5.0	0 0.0
	自由業	21 100.0	3 14.3	6 28.6	7 33.3	3 14.3	1 4.8	0 0.0	1 4.8	0 0.0
	会社員	490 100.0	40 8.2	82 16.7	197 40.2	68 13.9	78 15.9	11 2.2	14 2.9	0 0.0
	公務員・教員	81 100.0	3 3.7	23 28.4	36 44.4	8 9.9	8 9.9	2 2.5	1 1.2	0 0.0
	農・林・漁業	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	17 5.9	36 12.5	120 41.5	61 21.1	42 14.5	4 1.4	9 3.1	0 0.0
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	21 6.7	42 13.4	116 37.1	71 22.7	40 12.8	3 1.0	18 5.8	2 0.6
	学生	38 100.0	1 2.6	3 7.9	21 55.3	8 21.1	4 10.5	0 0.0	1 2.6	0 0.0
	無職	446 100.0	47 10.5	54 12.1	123 27.6	106 23.8	46 10.3	9 2.0	56 12.6	5 1.1
	その他	100 100.0	8 8.0	15 15.0	46 46.0	12 12.0	13 13.0	1 1.0	5 5.0	0 0.0
無回答	4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	

問6 外国人市民とともに暮らしやすい社会にするために、外国人市民にどのようなことを期待しますか。(1つに○)

	サンプル数	守ってほしい日本の法律、生活ルール、習慣を	日本語や日本の文化を学んでほしい	あいさつや言葉とコミュニケーションをとって欲しい	地域の活動に参加してほしい	生活の中で感じたことを提案、発言してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	特にない	無回答	
全体	1,941 100.0	838 43.2	249 12.8	354 18.2	99 5.1	111 5.7	123 6.3	154 7.9	13 0.7	
性別	男性	812 100.0	366 45.1	112 13.8	127 15.6	45 5.5	47 5.5	67 8.3	3 0.4	
	女性	1,124 100.0	471 41.9	136 12.1	227 20.2	54 4.8	63 5.6	78 6.9	86 7.7	9 0.8
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
年齢別	20歳代	177 100.0	65 36.7	26 14.7	26 14.7	8 4.5	18 10.2	21 11.9	12 6.8	1 0.6
	30歳代	263 100.0	115 43.7	40 15.2	33 12.5	12 4.6	22 8.4	31 11.8	10 3.8	0 0.0
	40歳代	306 100.0	142 46.4	38 12.4	57 18.6	18 5.9	22 7.2	16 5.2	13 4.2	0 0.0
	50歳代	319 100.0	141 44.2	40 12.5	68 21.3	18 5.6	23 7.2	16 5.0	12 3.8	1 0.3
	60歳代	442 100.0	190 43.0	52 11.8	103 23.3	26 5.9	19 4.3	20 4.5	31 7.0	1 0.2
	70歳以上	431 100.0	185 42.9	51 11.8	67 15.5	17 3.9	7 1.6	19 4.4	76 17.6	9 2.1
	無回答	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	居住年数別	1年未満	88 100.0	31 35.2	15 17.0	19 21.6	3 3.4	9 10.2	6 6.8	5 5.7
2年未満		62 100.0	24 38.7	10 16.1	12 19.4	2 3.2	8 12.9	3 4.8	3 4.8	0 0.0
3年未満		70 100.0	32 45.7	5 7.1	8 11.4	5 7.1	6 8.6	6 8.6	8 11.4	0 0.0
5年未満		149 100.0	61 40.9	18 12.1	31 20.8	2 1.3	7 4.7	14 9.4	14 9.4	2 1.3
10年未満		207 100.0	98 47.3	27 13.0	27 13.0	10 4.8	19 9.2	16 7.7	9 4.3	1 0.5
20年未満		404 100.0	184 45.5	49 12.1	84 20.8	19 4.7	23 5.7	21 5.2	23 5.7	1 0.2
30年未満		363 100.0	149 41.0	43 11.8	71 19.6	20 5.5	19 5.2	29 8.0	28 7.7	4 1.1
30年以上		596 100.0	259 43.5	81 13.6	102 17.1	38 6.4	20 3.4	28 4.7	64 10.7	4 0.7
無回答		2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
居住区別		門司区	220 100.0	91 41.4	26 11.8	52 23.6	11 5.0	7 3.2	12 5.5	20 9.1
	小倉北区	352 100.0	155 44.0	48 13.6	53 15.1	15 4.3	21 6.0	27 7.7	32 9.1	1 0.3
	小倉南区	419 100.0	177 42.2	54 12.9	68 16.2	21 5.0	33 7.9	32 7.6	30 7.2	4 1.0
	若松区	178 100.0	81 45.5	15 8.4	30 16.9	9 5.1	11 6.2	15 8.4	15 8.4	2 1.1
	八幡東区	144 100.0	59 41.0	19 13.2	26 18.1	8 5.6	9 6.3	5 3.5	16 11.1	2 1.4
	八幡西区	493 100.0	219 44.4	63 12.8	100 20.3	28 5.7	22 4.5	26 5.3	33 6.7	2 0.4
	戸畑区	135 100.0	56 41.5	24 17.8	25 18.5	7 5.2	8 5.9	6 4.4	8 5.9	1 0.7

	サンプル数	守ってほしい日本の法律、生活ルール、習慣を	日本語や日本の文化を学んでほしい	あいさつや言葉とコミュニケーションをとって欲しい	地域の活動に参加してほしい	生活の中で感じたことを提案、発言してほしい	外国の言葉や文化を教えてほしい	特にない	無回答	
全体	1,928 100.0	837 43.4	248 12.9	354 18.4	99 5.1	110 5.7	116 6.0	151 7.8	13 0.7	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	66 46.8	17 12.1	29 20.6	7 5.0	4 2.8	7 5.0	0 0.0	
	自由業	21 100.0	10 47.6	4 19.0	2 9.5	0 0.0	2 9.5	3 14.3	0 0.0	
	会社員	490 100.0	227 46.3	65 13.3	76 15.5	26 5.3	41 8.4	29 5.9	26 5.3	0 0.0
	公務員・教員	81 100.0	34 42.0	12 14.8	12 14.8	9 11.1	6 7.4	4 4.9	2 2.5	2 2.5
	農・林・漁業	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	117 40.5	39 13.5	68 23.5	14 4.8	17 5.9	17 6.6	19 5.2	15 0.0
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	127 40.6	38 12.1	72 23.0	14 4.5	17 5.4	21 6.7	21 6.7	3 1.0
	学生	38 100.0	13 34.2	9 23.7	5 13.2	5 10.5	4 5.3	2 10.5	4 2.6	1 0.0
	無職	446 100.0	202 45.3	53 11.9	69 15.5	17 3.8	14 3.1	18 4.0	66 14.8	7 1.6
	その他	100 100.0	39 39.0	9 9.0	18 18.0	8 8.0	6 6.0	11 11.0	9 9.0	0 0.0
無回答	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	

問7 外国人市民とともに仲良く暮らすために、あなたが関わりたいことはありますか。(1つに○)

	サンプル数	に 自分から外国人に話しかけるよう にしたい	外国語を覚えて(外国語の能力を 活かして)、外国人とのコミュニ ケーションの手伝いをしたい	ボランティアとしてできること をしたい(NPO活動への参加な ど)	日本人市民と外国人市民との交流 の機会を企画、参加したい	なるべく関わりたいくない	わからない	無 回答	
全体	1,941 100.0	288 14.8	220 11.3	110 5.7	157 8.1	249 12.8	871 44.9	46 2.4	
性別	男性	812 100.0	131 16.1	101 12.4	37 4.6	64 7.9	130 16.0	327 40.3	22 2.7
	女性	1,124 100.0	156 13.9	118 10.5	73 6.5	93 8.3	119 10.6	543 48.3	22 2.0
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0
年齢別	20歳代	177 100.0	21 11.9	44 24.9	15 8.5	24 13.6	14 7.9	56 31.6	3 1.7
	30歳代	263 100.0	34 12.9	39 14.8	14 5.3	29 11.0	36 13.7	111 42.2	0 0.0
	40歳代	306 100.0	44 14.4	42 13.7	15 4.9	35 11.4	31 10.1	136 44.4	3 1.0
	50歳代	319 100.0	64 20.1	36 11.3	25 7.8	19 6.0	36 11.3	135 42.3	4 1.3
	60歳代	442 100.0	68 15.4	30 6.8	30 6.8	25 5.7	64 14.5	210 47.5	15 3.4
	70歳以上	431 100.0	57 13.2	28 6.5	11 2.6	25 5.8	67 15.5	223 51.7	20 4.6
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3
	居住年数別	1年未満	88 100.0	13 14.8	13 14.8	4 4.5	9 10.2	10 11.4	39 44.3
2年未満	62 100.0	11 17.7	9 14.5	2 3.2	7 11.3	9 14.5	23 37.1	1 1.6	
3年未満	70 100.0	6 8.6	10 14.3	5 7.1	8 11.4	6 8.6	34 48.6	1 1.4	
5年未満	149 100.0	20 13.4	30 20.1	7 4.7	10 6.7	15 10.1	66 44.3	1 0.7	
10年未満	207 100.0	31 15.0	22 10.6	15 7.2	31 15.0	19 9.2	88 42.5	1 0.5	
20年未満	404 100.0	66 16.3	50 12.4	22 5.4	33 8.2	42 10.4	181 44.8	10 2.5	
30年未満	363 100.0	51 14.0	44 12.1	23 6.3	24 6.6	53 14.6	161 44.4	7 1.9	
30年以上	596 100.0	90 15.1	41 6.9	32 5.4	35 5.9	95 15.9	279 46.8	24 4.0	
無回答	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	
居住区別	門司区	220 100.0	38 17.3	28 12.7	7 3.2	18 8.2	29 13.2	93 42.3	7 3.2
	小倉北区	352 100.0	46 13.1	47 13.4	25 7.1	31 8.8	51 14.5	139 39.5	13 3.7
	小倉南区	419 100.0	69 16.5	47 11.2	22 5.3	36 8.6	57 13.6	183 43.7	5 1.2
	若松区	178 100.0	26 14.6	14 7.9	8 4.5	15 8.4	20 11.2	88 49.4	7 3.9
	八幡東区	144 100.0	16 11.1	17 11.8	7 4.9	11 7.6	19 13.2	69 47.9	5 3.5
	八幡西区	493 100.0	75 15.2	59 12.0	34 6.9	36 7.3	59 12.0	223 45.2	7 1.4
	戸畑区	135 100.0	18 13.3	8 5.9	7 5.2	10 7.4	14 10.4	76 56.3	2 1.5

	サンプル数	に 自分から外国人に話しかけるよう にしたい	外国語を覚えて(外国語の能力を 活かして)、外国人とのコミュニ ケーションの手伝いをしたい	ボランティアとしてできること をしたい(NPO活動への参加な ど)	日本人市民と外国人市民との交流 の機会を企画、参加したい	なるべく関わりたいたくない	わからない	無 回答	
全体	1,928 100.0	287 14.9	218 11.3	106 5.5	154 8.0	249 12.9	868 45.0	46 2.4	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	24 17.0	14 9.9	10 7.1	13 9.2	20 14.2	58 41.1	2 1.4
	自由業	21 100.0	3 14.3	3 14.3	1 4.8	1 4.8	2 9.5	10 47.6	1 4.8
	会社員	490 100.0	78 15.9	68 13.9	29 5.9	41 8.4	58 11.8	209 42.7	7 1.4
	公務員・教員	81 100.0	17 21.0	16 19.8	3 3.7	12 14.8	8 9.9	25 30.9	0 0.0
	農・林・漁業	5 100.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	46 15.9	26 9.0	20 6.9	27 9.3	20 6.9	143 49.5	7 2.4
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	45 14.4	27 8.6	19 6.1	20 6.4	48 15.3	149 47.6	5 1.6
	学生	38 100.0	4 10.5	11 28.9	3 7.9	6 15.8	3 7.9	10 26.3	1 2.6
	無職	446 100.0	58 13.0	34 7.6	13 2.9	21 4.7	75 16.8	224 50.2	21 4.7
	その他	100 100.0	12 12.0	17 17.0	8 8.0	13 13.0	14 14.0	35 35.0	1 1.0
無回答	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	

問8（問7で3、4のいずれかをお答になった方におたずねします）その活動を行うにあたり、あなたの活動しやすい地域を選んでください。（1つに○）
 【日本人市民のみへの質問】

	サンプル数	小倉駅付近	八幡東区平野地区	黒崎駅付近	折尾駅付近	その他	無回答	
全体	260 100.0	142 54.6	16 6.2	35 13.5	34 13.1	29 11.2	4 1.5	
性別	男性	98 100.0	52 53.1	6 6.1	13 13.3	17 17.3	10 10.2	0 0.0
	女性	162 100.0	90 55.6	10 6.2	22 13.6	17 10.5	19 11.7	4 2.5
	無回答	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
年齢別	20歳代	38 100.0	23 60.5	1 2.6	6 15.8	5 13.2	3 7.9	0 0.0
	30歳代	42 100.0	29 69.0	0 0.0	5 11.9	6 14.3	2 4.8	0 0.0
	40歳代	49 100.0	25 51.0	4 8.2	7 14.3	4 8.2	9 18.4	0 0.0
	50歳代	44 100.0	21 47.7	6 13.6	6 13.6	9 20.5	1 2.3	1 2.3
	60歳代	52 100.0	27 51.9	3 5.8	6 11.5	7 13.5	9 17.3	0 0.0
	70歳以上	35 100.0	17 48.6	2 5.7	5 14.3	3 8.6	5 14.3	3 8.6
	無回答	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
居住年数別	1年未満	13 100.0	7 53.8	1 7.7	2 15.4	3 23.1	0 0.0	0 0.0
	2年未満	9 100.0	6 66.7	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	0 0.0
	3年未満	12 100.0	7 58.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
	5年未満	17 100.0	13 76.5	0 0.0	1 5.9	2 11.8	1 5.9	0 0.0
	10年未満	46 100.0	29 63.0	2 4.3	5 10.9	6 13.0	3 6.5	1 2.2
	20年未満	54 100.0	31 57.4	2 3.7	6 11.1	7 13.0	8 14.8	0 0.0
	30年未満	46 100.0	23 50.0	3 6.5	5 10.9	7 15.2	7 15.2	1 2.2
	30年以上	63 100.0	26 41.3	7 11.1	12 19.0	6 9.5	10 15.9	2 3.2
	無回答	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
居住区別	門司区	25 100.0	19 76.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 20.0	1 4.0
	小倉北区	54 100.0	53 98.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9
	小倉南区	57 100.0	48 84.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 14.0	1 1.8
	若松区	23 100.0	5 21.7	1 4.3	3 13.0	7 30.4	7 30.4	0 0.0
	八幡東区	16 100.0	3 18.8	11 68.8	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0
	八幡西区	68 100.0	3 4.4	2 2.9	32 47.1	27 39.7	3 4.4	1 1.5
	戸畑区	17 100.0	11 64.7	2 11.8	0 0.0	0 0.0	4 23.5	0 0.0

	サンプル数	小倉駅付近	八幡東区平野地区	黒崎駅付近	折尾駅付近	その他	無回答	
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	23 100.0	12 52.2	0 0.0	4 17.4	3 13.0	2 8.7	2 8.7
	自由業	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	会社員	70 100.0	42 60.0	3 4.3	6 8.6	13 18.6	6 8.6	0 0.0
	公務員・教員	15 100.0	6 40.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3	3 20.0	0 0.0
	農・林・漁業	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
	主婦・主夫 (パートなど)	47 100.0	28 59.6	3 6.4	6 12.8	3 6.4	7 14.9	0 0.0
	主婦・主夫 (専業)	39 100.0	14 35.9	4 10.3	8 20.5	5 12.8	7 17.9	1 2.6
	学生	9 100.0	5 55.6	0 0.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2	0 0.0
	無職	34 100.0	19 55.9	3 8.8	6 17.6	3 8.8	2 5.9	1 2.9
	その他	21 100.0	14 66.7	2 9.5	1 4.8	4 19.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

問9 外国人市民(子ども)と日本人が同じ学校で学ぶことについて、あなたはどのように思いますか(1つに○)

	サンプル数	子どもたちの国際感覚が養われる	子どもたちに多様な理解させる良い機会になる	子どもたちが多様な理解させる良い影響が出るかもしれない	先がけ、日本人の子どもたちへの対応が優れている	外国人の子どもたちへの対応が優れている	通った方がよい	どちらでもよい	わからない	無回答
全体	1,941 100.0	363 18.7	1,084 55.8	47 2.4	70 3.6	200 10.3	146 7.5	31 1.6		
性別	男性	812 100.0	151 18.6	433 53.3	18 2.2	38 4.7	95 11.7	64 7.9	13 1.6	
	女性	1,124 100.0	212 18.9	649 57.7	29 2.6	32 2.8	105 9.3	81 7.2	16 1.4	
	無回答	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	
年齢別	20歳代	177 100.0	34 19.2	108 61.0	1 0.6	5 2.8	19 10.7	9 5.1	1 0.6	
	30歳代	263 100.0	56 21.3	159 60.5	5 1.9	9 3.4	24 9.1	9 3.4	1 0.4	
	40歳代	306 100.0	47 15.4	190 62.1	10 3.3	10 3.3	28 9.2	18 5.9	3 1.0	
	50歳代	319 100.0	48 15.0	202 63.3	10 3.1	8 2.5	34 10.7	12 3.8	5 1.6	
	60歳代	442 100.0	66 14.9	271 61.3	7 1.6	18 4.1	41 9.3	30 6.8	9 2.0	
	70歳以上	431 100.0	112 26.0	153 35.5	14 3.2	20 4.6	54 12.5	67 15.5	11 2.6	
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	
	居住年数別	1年未満	88 100.0	15 17.0	54 61.4	1 1.1	3 3.4	10 11.4	4 4.5	1 1.1
2年未満		62 100.0	10 16.1	36 58.1	1 1.6	1 1.6	11 17.7	2 3.2	1 1.6	
3年未満		70 100.0	16 22.9	41 58.6	0 0.0	3 4.3	7 10.0	2 2.9	1 1.4	
5年未満		149 100.0	31 20.8	87 58.4	1 0.7	10 6.7	12 8.1	7 4.7	1 0.7	
10年未満		207 100.0	31 15.0	130 62.8	2 1.0	7 3.4	17 8.2	17 8.2	3 1.4	
20年未満		404 100.0	63 15.6	247 61.1	8 2.0	15 3.7	41 10.1	26 6.4	4 1.0	
30年未満		363 100.0	67 18.5	200 55.1	14 3.9	9 2.5	37 10.2	34 9.4	2 0.6	
30年以上		596 100.0	130 21.8	288 48.3	20 3.4	22 3.7	65 10.9	54 9.1	17 2.9	
無回答		2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	
居住区別		門司区	220 100.0	45 20.5	115 52.3	6 2.7	9 4.1	24 10.9	18 8.2	3 1.4
	小倉北区	352 100.0	69 19.6	183 52.0	5 1.4	14 4.0	53 15.1	19 5.4	9 2.6	
	小倉南区	419 100.0	70 16.7	232 55.4	12 2.9	19 4.5	47 11.2	35 8.4	4 1.0	
	若松区	178 100.0	34 19.1	96 53.9	9 5.1	3 1.7	15 8.4	17 9.6	4 2.2	
	八幡東区	144 100.0	29 20.1	81 56.3	3 2.1	5 3.5	6 4.2	14 9.7	6 4.2	
	八幡西区	493 100.0	92 18.7	294 59.6	11 2.2	15 3.0	42 8.5	36 7.3	3 0.6	
	戸畑区	135 100.0	24 17.8	83 61.5	1 0.7	5 3.7	13 9.6	7 5.2	2 1.5	

	サンプル数	子どもたちの国際感覚が養われる	子どもたちに多様な理解させる良い機会になる	子どもたちが多様な理解させる良い影響が出るかもしれない	先がけ、日本人の子どもたちへの対応が優れている	外国人の子どもたちへの対応が優れている	通った方がよい	どちらでもよい	わからない	無回答
全体	1,928 100.0	361 18.7	1,077 55.9	47 2.4	68 3.5	198 10.3	146 7.6	31 1.6		
職業別 (日本人市民のみ)	自営業	141 100.0	31 22.0	76 53.9	2 1.4	7 5.0	15 10.6	9 6.4	1 0.7	
	自由業	21 100.0	8 38.1	8 38.1	0 0.0	2 9.5	2 9.5	0 0.0	1 4.8	
	会社員	490 100.0	76 15.5	304 62.0	11 2.2	14 2.9	57 11.6	24 4.9	4 0.8	
	公務員・教員	81 100.0	14 17.3	53 65.4	3 3.7	2 2.5	5 6.2	3 3.7	1 1.2	
	農・林・漁業	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	
	主婦・主夫 (パートなど)	289 100.0	53 18.3	181 62.6	6 2.1	6 2.1	24 8.3	16 5.5	3 1.0	
	主婦・主夫 (専業)	313 100.0	56 17.9	180 57.5	10 3.2	9 2.9	29 9.3	26 8.3	3 1.0	
	学生	38 100.0	7 18.4	26 68.4	1 2.6	1 2.6	2 5.3	1 2.6	0 0.0	
	無職	446 100.0	101 22.6	185 41.5	11 2.5	22 4.9	53 11.9	59 13.2	15 3.4	
	その他	100 100.0	14 14.0	60 60.0	3 3.0	5 5.0	10 10.0	7 7.0	1 1.0	
無回答	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0		

問10 日本人市民と外国人市民とが共に暮らしやすいまちづくりを進めるにあたって、どんな取組みに力を入れるべきだと思いますか。(主なもの3つに○)

	サンプル数	外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する	外国人市民に対し、日本語の学習を支援する	外国人市民に対する多言語での情報提供を充実させる	外国人市民に対する相談体制を充実させる	日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる	意識啓発や国際理解を促進する	日本人市民に対し、多文化共生に関する活動(町内会など)に積極的に参画するよう促す	外国人市民が地域社会の活動(町内会など)に積極的に参画するよう促す	外国人市民の意見表明の場や、市政への参加の機会を増やす	特になし	無回答
全体	1,941 100.0	1,057 54.5	637 32.8	376 19.4	658 33.9	849 43.7	358 18.4	386 19.9	288 14.8	133 6.9	55 2.8	
性別	男性	812 100.0	467 57.5	261 32.1	136 16.7	276 34.0	325 40.0	167 20.6	120 14.8	53 6.5	23 2.8	
	女性	1,124 100.0	590 52.5	375 33.4	239 21.3	382 34.0	522 46.4	197 17.5	168 14.9	80 7.1	29 2.6	
	無回答	5 100.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
年齢別	20歳代	177 100.0	90 50.8	63 35.6	45 25.4	67 37.9	88 49.7	45 25.4	28 15.8	37 20.9	6 3.4	1 0.6
	30歳代	263 100.0	171 65.0	105 39.9	53 20.2	93 35.4	134 51.0	65 24.7	46 17.5	31 11.8	4 1.5	0 0.0
	40歳代	306 100.0	177 57.8	104 34.0	85 27.8	136 44.4	142 46.4	62 20.3	57 18.6	40 13.1	8 2.6	3 1.0
	50歳代	319 100.0	187 58.6	110 34.5	76 23.8	118 37.0	148 46.4	65 20.4	56 17.6	32 10.1	10 3.1	0 0.9
	60歳代	442 100.0	226 51.1	137 31.0	77 17.4	134 30.3	190 43.0	71 16.1	108 24.4	67 15.2	36 8.1	14 3.2
	70歳以上	431 100.0	205 47.6	116 26.9	40 9.3	110 25.5	145 33.6	49 11.4	91 21.1	61 14.2	69 16.0	33 7.7
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	1年未満	88 100.0	47 53.4	35 39.8	20 22.7	34 38.6	37 42.0	21 23.9	13 14.8	13 14.8	6 6.8	1 1.1
	2年未満	62 100.0	34 54.8	19 30.6	13 21.0	27 43.5	30 48.4	16 25.8	10 16.1	10 16.1	2 3.2	1 1.6
3年未満	70 100.0	43 61.4	25 35.7	8 11.4	31 44.3	33 47.1	16 22.9	9 12.9	18 25.7	2 2.9	1 1.4	
5年未満	149 100.0	85 57.0	57 38.3	36 24.2	56 37.6	65 43.6	31 20.8	22 14.8	15 10.1	12 8.1	1 0.7	
10年未満	207 100.0	115 55.6	68 32.9	50 24.2	75 36.2	106 51.2	41 19.8	41 19.8	37 17.9	9 4.3	3 1.4	
20年未満	404 100.0	235 58.2	136 33.7	74 18.3	140 34.7	168 41.6	80 19.8	94 23.3	66 16.3	18 4.5	8 2.0	
30年未満	363 100.0	189 52.1	123 33.9	90 24.8	114 31.4	164 45.2	61 16.8	59 16.3	52 14.3	23 6.3	12 3.3	
30年以上	596 100.0	309 51.8	173 29.0	85 14.3	181 30.4	245 41.1	91 15.3	138 23.2	77 12.9	61 10.2	27 4.5	
無回答	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	
居住区別	門司区	220 100.0	115 52.3	83 37.7	48 21.8	70 31.8	99 45.0	47 21.4	42 19.1	25 11.4	14 6.4	8 3.6
	小倉北区	352 100.0	189 53.7	118 33.5	72 20.5	115 32.7	147 41.8	61 17.3	59 16.8	56 15.9	22 6.3	15 4.3
	小倉南区	419 100.0	228 54.4	145 34.6	75 17.9	134 32.0	190 45.3	77 18.4	92 22.0	63 15.0	22 5.3	10 2.4
	若松区	178 100.0	98 55.1	53 29.8	32 18.0	62 34.8	79 44.4	35 19.7	33 18.5	27 15.2	14 7.9	7 3.9
	八幡東区	144 100.0	80 55.6	47 32.6	28 19.4	55 38.2	58 40.3	22 15.3	26 18.1	32 22.2	10 6.9	6 4.2
	八幡西区	493 100.0	278 56.4	152 30.8	89 18.1	178 36.1	217 44.0	86 17.4	108 21.9	65 13.2	40 8.1	7 1.4
	戸畑区	135 100.0	69 51.1	39 28.9	32 23.7	44 32.6	59 43.7	30 22.2	26 19.3	20 14.8	11 8.1	2 1.5

	サンプル数	外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する	外国人市民に対し、日本語の学習を支援する	外国人市民に対する多言語での情報提供を充実させる	外国人市民に対する相談体制を充実させる	日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる	意識啓発や国際理解を促進する	日本人市民に対し、多文化共生に関する活動(町内会など)に積極的に参画するよう促す	外国人市民が地域社会の活動(町内会など)に積極的に参画するよう促す	外国人市民の意見表明の場や、市政への参加の機会を増やす	特になし	無回答	
全体	1,928 100.0	1,054 54.7	635 32.9	371 19.2	651 33.8	845 43.8	354 18.4	385 20.0	283 14.7	132 6.8	55 2.9		
職業別	自営業	141 100.0	78 55.3	37 26.2	28 19.9	46 32.6	57 40.4	25 17.7	26 18.4	18 12.8	7 5.0	7 5.0	
	自由業	21 100.0	13 61.9	7 33.3	3 14.3	8 38.1	8 38.1	0 0.0	5 23.8	4 19.0	1 4.8	1 4.8	
	会社員	490 100.0	300 61.2	178 36.3	112 22.9	186 38.0	227 46.3	111 22.7	88 18.0	74 15.1	15 3.1	3 0.6	
	公務員・教員	81 100.0	48 59.3	28 34.6	17 21.0	28 34.6	39 48.1	26 32.1	20 24.7	9 11.1	2 2.5	0 0.0	
	農・林・漁業	5 100.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	
	主婦・主夫(パートなど)	289 100.0	159 55.0	92 31.8	64 22.1	99 34.3	141 48.8	151 52.1	55 19.0	61 21.1	46 15.9	14 4.8	4 1.4
	主婦・主夫(専業)	313 100.0	175 55.9	104 33.2	66 21.1	103 32.9	151 48.2	54 17.3	65 20.8	49 15.7	21 6.7	6 1.9	
	学生	38 100.0	22 57.9	13 34.2	11 28.9	14 36.8	20 52.6	10 26.3	11 28.9	7 18.4	0 0.0	0 0.0	
	無職	446 100.0	207 46.4	135 30.3	48 10.8	132 29.6	155 34.8	52 11.7	86 19.3	58 13.0	65 14.6	28 6.3	
	その他	100 100.0	50 50.0	37 37.0	22 22.0	34 34.0	42 42.0	20 20.0	23 23.0	17 17.0	6 6.0	4 4.0	
無回答	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	

資料編

2 調査票

平成 22 年度市民意識調査

継 続 調 査 「 市 政 評 価 と 市 政 要 望 」

特定テーマ調査 「 多文化共生について 」

平 成 2 2 年 9 月

北 九 州 市

【ご記入にあたって】

- 1 調査票はあて名となっている方が無記名で記入してください。
- 2 黒か青の筆記用具を使用してください。
- 3 問1については、もっとも妥当と思われるものを3つ選んで番号を記入してください。問2以降については妥当と思われる番号に をつけてください。
- 4 調査票は、10月11日(月)までに同封の封筒に入れてご返送ください。
切手は不要です。

この調査についてご不明の点がございましたら下記へお問い合わせください。

総務市民局市民部広聴課 電話 582 - 2527

まず、私たちのまち北九州市の市政についておたずねします。（「市政評価と市政要望」調査）

問1 北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなり良くなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選び、下の回答欄に番号（1～33）を記入してください。

子育て、 教育、 人材育成	1 子育て支援の推進 2 学校教育の充実 3 青少年の健全育成の推進 4 学術の振興（学術研究都市の推進、市立大学の充実など） 5 生涯学習の推進
健康、 安全・ 安心	6 医療・衛生管理体制の充実（救急医療、感染症対策など） 7 防犯、暴力追放運動の推進 8 防災体制の充実 9 消費者被害防止対策 10 高齢社会対策の推進 11 障害者施策の推進 12 健康づくりの推進（検診、予防、食育など） 13 人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進 14 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
快適な 暮らし、 文化 ・ スポーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくりの推進 16 都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など） 17 住宅供給の促進・快適な住環境の整備 18 駐車対策 19 身近な生活道路の整備 20 芸術・文化活動の振興 21 スポーツの振興 22 地域コミュニティづくりの支援 23 ボランティア・NPO活動の支援 24 市役所の窓口サービスの向上
産業	25 産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など） 26 観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興
都市基盤 ・ 物流	27 市街地の整備・再開発 28 交通・物流（空港、港湾など）機能の強化 29 道路・交通ネットワークの整備
環境	30 ごみの適正処理とリサイクル 31 大気・騒音・水質などの環境保全 32 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進
交流・連携	33 アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり

回答欄（1～33までの番号を記入してください。）

	1位	2位	3位
「よくなっている」もの	()	()	()
「今後、もっと力を入れてほしい」もの...	()	()	()

さて、ここで多文化共生について、おたずねします。

多文化共生とは？

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」です。

北九州市では、外国籍を持ちながら生活している市民のことを、外国人市民と呼んでいます。平成22年3月現在、本市の外国人登録者数は、1万1千人を超えています。国の成長戦略における海外人材受入れ促進や留学生増加計画をみても、引き続き本市で生活する外国人市民は増加することが見込まれています。

本市では外国人市民のために、現在、多言語による生活情報の提供、無料相談会や子育て支援も行う日本語教室の開催などに取り組んでいます。平成22年度中には「多文化共生プラン」を含んだ「北九州市国際政策推進大綱」を策定する予定であり、誰にとっても暮らしやすい、「多文化共生」のまちづくりをさらに推進していきます。



問2 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(1つに)

- 1 ある
- 2 ない

問3 あなたは現在、地域の外国人とどのようなつきあいがありますか。また、今後どのように接していきたいと思いませんか。(はそれぞれ1つ)

【現在】

- 1 まったくつきあいがいい
- 2 あいさつをする程度
- 3 日常生活のことを話している
- 4 友人としてつきあっている
- 5 家族同様に親しくつきあっている
- 6 親族に外国人がいる
- 7 近所にいない

【今後】

- 1 まったくつきあわない
- 2 あいさつをする程度
- 3 日常生活のことを話す
- 4 友人としてつきあう
- 5 家族同様もしくは親族として、親しくつきあう
- 6 わからない

問4 あなたは、地域に外国人が住むことについて、どう思いますか。(3つまで)

- 1 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える
- 2 まちに活気が出る
- 3 地域の経済的な発展につながる
- 4 外国人とコミュニケーションをとることが難しい
- 5 外国人とのトラブルや治安悪化の可能性が心配である
- 6 外国語対応の看板設置など、社会的な負担が増える
- 7 わからない

問5 日本人と外国人との間にトラブルが起こるとすれば、一番の原因はどこにあると思いますか。(1つに)

- 1 日本人が、外国人の生活習慣や文化を理解していないため
- 2 外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため
- 3 外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため
- 4 言葉が通じないため
- 5 普段からお互いにコミュニケーションをとっていないため
- 6 その他()
- 7 わからない

問6 外国人市民とともに暮らしやすい社会にするために、外国人市民にどのようなことを期待しますか。(1つに)

- 1 日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい
- 2 日本語や日本の文化を学んでほしい
- 3 あいさつや言葉を交わしてコミュニケーションをとって欲しい
- 4 地域の活動に参加してほしい
- 5 生活の中で感じたことを提案、発言してほしい
- 6 外国の言葉や文化を教えてほしい
- 7 特にない

問7 外国人市民とともに仲良く暮らすために、あなたが関わりたいことはありますか。
(1つに)

- 1 自分から外国人に話しかけるようにしたい
- 2 外国語を覚えて(外国語の能力を活かして)、外国人とのコミュニケーションの手伝いをしたい
- 3 ボランティアとしてできることをしたい(NPO活動への参加など)
- 4 日本人市民と外国人市民との交流の機会を企画、参加したい
- 5 なるべく関わりたくない
- 6 わからない

3、4 と答えた方のみ、
問8へお進み下さい。

問8 (問7で3、4のいずれかをお答えになった方におたずねします)
その活動を行うにあたり、あなたの活動しやすい地域を選んでください。
(1つに)

- 1 小倉駅付近
- 2 八幡東区平野地区
- 3 黒崎駅付近
- 4 折尾駅付近
- 5 その他()

問9 外国人市民(子ども)と日本人が同じ学校で学ぶことについて、あなたはどのように思いますか。(1つに)

- 1 子どもたちの国際感覚が養われる
- 2 子どもたちに多様性を理解させる良い機会になる
- 3 外国人の子どもたちへの対応が優先されて、日本人の子どもたちに目が行き届かなくなるなど、よくない影響が出るかもしれない
- 4 外国人の子どもたちは、インターナショナルスクールや民族学校に通った方がよい
- 5 どちらでもいい
- 6 わからない

問10 日本人市民と外国人市民とが共に暮らしやすいまちづくりを進めるにあたって、
どんな取組みに力を入れるべきだと思いますか。（主なもの3つに）

- 1 外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣の違いなどを周知する
- 2 外国人市民に対し、日本語の学習を支援する
- 3 外国人市民に対する多言語での情報提供を充実させる
- 4 外国人市民に対する相談体制を充実させる
- 5 日本人市民と外国人市民との交流の場をつくる
- 6 日本人市民に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する
- 7 外国人市民が地域社会の活動（町内会など）に積極的に参画するよう促す
- 8 外国人市民の意見表明の場や、市政への参加の機会を増やす
- 9 特にない

問11 多文化共生について、あなたのご意見を自由にお書きください。

.....

.....

.....

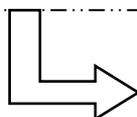
.....

.....

.....

.....

アンケートは次のページへ続きます。



へいせい ねんどうし じんいしき ちやうさ
平成22年度市民意識調査

けいぞく ちやうさ けいせいひょうか けいせいようぼう
継続調査 「市政評価と市政要望」

とくてい ちやうさ たぶんかきようせい
特定テーマ調査 「多文化共生について」

へいせい ねん がつ
平成 22 年 9 月

きた きゅう しゅう し
北 九 州 市

きにゆう
【ご記入にあたって】

- 1 ちやうさひょう なひとむきめい
調査票はあて名の方が無記名で記入してください。
 - 2 くるあおひつきようぐしやう
黒か青の筆記用具を使用してください。
 - 3 とい だとう おも えら ばんごう きにゆう
問1については、もっとも妥当と思われるものを3つ選んで番号を記入してください。問2以降については妥当と思われる番号に をつけてください。
 - 4 ちやうさひょう がつ にち げつ どうふう ふうとう へんそう
調査票は、10月11日(月)までに同封の封筒に入れてご返送ください。
- きって ふよう
切手は不要です。

ちやうさ ふめい てん かき と あ
この調査についてご不明の点がありましたら下記へお問い合わせください。

そうむし じんきょくし じんぶこう ちやうか
総務市民局市民部広聴課

でんわ
電話 582 - 2527

わたし きたきゅうしゅうし しせい しせいひょうか
 まず、私 たちのまち北九州市の市政についておたずねします。（「市政評価と
 しせいひょうか ちょうさ
 市政要望」調査）

問 1 北九州市が行っている施策や事業などで、以前に比べて「かなり良くなっている」もの、及び「今後、もっと力を入れてほしい」ものを次の中からそれぞれ1位から3位まで選び、下の回答欄に番号（1～33）を記入してください。

こそだ 子育て、 きょういく 教育、 じんざいいくせい 人材育成	1 子育て支援の推進 2 学校教育の充実 3 青少年の健全育成の推進 4 学術の振興（学術 研究 都市の推進、市立大学の充実 など） 5 生涯学習の推進
けんこう 健康、 あんぜん 安全・ あんしん 安心	6 医療・衛生管理体制の充実（救急 医療、感染症対策など） 7 防犯、暴力追放運動の推進 8 防災体制の充実 9 消費者被害防止対策 10 高齢社会対策の推進 11 障害者施策の推進 12 健康づくりの推進（検診、予防、食育 など） 13 人権の尊重と男女共同参画（あらゆる分野への女性の参画）の推進 14 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
かいてき 快適な く 暮らし、 ぶんか 文化 ・ スポーツ	15 公園の整備など、緑のまちづくりの推進 16 都市景観の整備（まち並みづくりと歴史的建造物の活用など） 17 住宅供給の促進・快適な住環境の整備 18 駐車対策 19 身近な生活道路の整備 20 芸術・文化活動の振興 21 スポーツの振興 22 地域コミュニティづくりの支援 23 ボランティア・NPO活動の支援 24 市役所の窓口サービスの向上
さんぎょう 産業	25 産業の振興（企業の誘致・成長支援、雇用の促進など） 26 観光・コンベンション（大規模な会議など）の振興
としきばん 都市基盤 ・ ぶつりゅう 物流	27 市街地の整備・再開発 28 交通・物流（空港、港湾など）機能の強化 29 道路・交通ネットワークの整備
かんきょう 環境	30 ごみの適正処理とリサイクル 31 大気・騒音・水質などの環境保全 32 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進
こうりゅう 交流・ れんけい 連携	33 アジアを中心とした交流の推進と国籍を問わず快適に暮らせるまちづくり

かいどうらん ばんごう きにゅう
 回答欄（1～33までの番号を記入してください。）

	1位	2位	3位
「よくなっている」もの	()	()	()
「今後、もっと力を入れてほしい」もの...	()	()	()

さて、ここで多文化共生について、おたずねします。



多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」です。

本市では、多言語による生活情報の提供、外国人市民向けの無料相談会や、子育て支援も行う日本語教室の開催などに取り組んでいます。平成22年度中には「多文化共生」に関する計画も含んだ「北九州市国際政策推進大綱」（国際政策の計画書）をつくる予定です。誰にとっても暮らしやすい「多文化共生」のまちづくりをさらに推進するためにぜひ回答してください。

問2 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。（1つに ）

- 1 ある
- 2 ない

問3 あなたは現在、近くに住んでいる日本人とどのようなつきあいがありますか。また、今後どのように接していきたいと思いませんか。（はそれぞれ1つ）

【現在】

- 1 まったくつきあがない
- 2 あいさつをする程度
- 3 日常生活のことを話している
- 4 友人としてつきあっている
- 5 家族同様に親しくつきあっている
- 6 親族に日本人がいる
- 7 近くに住んでいない

【今後】

- 1 まったくつきあわない
- 2 あいさつをする程度
- 3 日常生活のことを話す
- 4 友人としてつきあう
- 5 家族同様もしくは親族として、親しくつきあう
- 6 わからない

問4 ^{がいこくじん にほんじん あいだ お いちばん げんいん} 外国人と日本人との間にトラブルが起こるとすれば、一番の原因はどこにあると
^{おも} 思いますか。(1つに)

- 1 ^{にほんじん がいこくじん せいかつしゅうかん ぶんか し} 日本人が、外国人の生活習慣や文化を知らないため
- 2 ^{がいこくじん にほん しゅうかん き し} 外国人が、日本の習慣や決まりを知らないため
- 3 ^{がいこく にほん せいかつしゅうかん ちが もんだい} 外国と日本の生活習慣の違いなどが、問題になることがあるため
- 4 ^{ことば つう} 言葉が通じないため
- 5 ^{ふだん たが} 普段からお互いにつきあっていないため
- 6 その他()
- 7 わからない

問5 ^{がいこくじんしみん く しゃがい にほんじんしみん} 外国人市民にも暮らしやすい社会にするために、日本人市民にどのようなことを
^{きたい} 期待しますか。(1つに)

- 1 ^{にほん ほうりつ せいかつ しゅうかん おし ほ} 日本の法律、生活ルール、習慣を教えて欲しい
- 2 ^{にほんご にほん ぶんか おし ほ} 日本語や日本の文化を教えて欲しい
- 3 ^{あいさつ ことば か ほ} あいさつや言葉を交わして欲しい
- 4 ^{ちいき かつどう さそ} 地域の活動などに誘ってほしい
- 5 ^{せいかつ なか かん い きかい あた} 生活の中で感じたことを言う機会を与えてほしい
- 6 ^{がいこく ことば ぶんか たいせつ} 外国の言葉や文化を大切にしてほしい
- 7 ^{とく} 特にない

問6 ^{にほんじんしみん なかよ く かか} 日本人市民とともに仲良く暮らすために、あなたが関わりたいことはありますか。
(1つに)

- 1 ^{じぶん にほんじん} 自分から日本人に話しかけるようにしたい
- 2 ^{にほんご おほ がいこくご のうりよく いか がいこくじん にほんじん} 日本語を覚えて(外国語の能力を活かして)、外国人と日本人とのコミュ
ニケーションの^{てつだ}手伝いをしたい
- 3 ボランティアとしてできることをしたい
- 4 ^{がいこくじんしみん にほんじんしみん こうりゅう きかい けいかく さんか} 外国人市民と日本人市民との交 流の機会を計画、参加したい
- 5 なるべく^{かか}関わりたくない
- 6 わからない

問7 ^こ子どもたちが^{にほんじん}日本人と同じ^{あな}学校で^{がっこう}学ぶことについて、^{まな}あなたは^{おも}どう思いますか。
 (1つに)

- 1 ^こ子どもたちの^{こくさいかんかく}国際感覚が^{やしな}養われる
- 2 ^こ子どもたちに^{たようせい}多様性を^{りかい}理解させる^よ良い^{きかい}機会になる
- 3 ^{にほんじん}日本人の^こ子どもたちへの^{たいおう}対応が^{ゆうせん}優先されて、^{がいこくじん}外国人の^こ子どもたちに^め目が行^ゆき届かなくなるなど、^{とど}よくない^{えいきょう}影響^でが出るかもしれない
- 4 ^こ子どもたちは、^{みんぞくがっこう}インターナショナルスクールや^{かよ}民族学校に通った方が^{ほう}よい
- 5 どちらでもよい
- 6 わからない

問8 ^{がいこくじんしみん}外国人市民と^{にほんじんしみん}日本人市民とが^{とも}共に^く暮らしやすい^{しゃかい}社会に^ししていくためには、^{どんな}どんな^{とりく}取り組みに^{ちから}力^いを入れるべきだと思^{おも}いますか。(主なもの3つに)

- 1 ^{がいこくじんしみん}外国人市民に対し、^{にほん}日本の^{せいかつ}生活ルールや^{しゅうかん}習慣の^{ちが}違いなどを^{つた}伝える
- 2 ^{がいこくじんしみん}外国人市民に対し、^{にほんご}日本語の^{がくしゅう}学習を^{しえん}支援する
- 3 ^{がいこくじんしみん}外国人市民に対し、^{たげんご}多言語で^{じょうほう}情報を^{つた}伝える
- 4 ^{がいこくじんしみん}外国人市民が^{こま}困った時に、^{とき}相談できる^{そうだん}仕組みをつくる
- 5 ^{がいこくじんしみん}外国人市民と^{にほんじんしみん}日本人市民との^{こうりゅう}交流の^{きかい}機会をつくる
- 6 ^{にほんじんしみん}日本人市民に対し、^{たぶんかきょうせい}多文化共生や^{こくさいりかい}国際理解について、^しもっと知^しってもら^ううための^{かつどう}活動をする。
- 7 ^{がいこくじんしみん}外国人市民が、^{ちいきしゃかい}地域社会の^{かつどう}活動(^{ちょうないかい}町内会など)に^{さんか}参加するように^{はたら}働きか^{ける}ける
- 8 ^{がいこくじんしみん}外国人市民が、^{ちいきしゃかい}地域社会や^し市に対して、^{いけん}意見を^い言える^{きかい}機会を増^ふやす
- 9 ^{とく}特^にない

問9 ^{たぶんかきょうせい}多文化共生について、^{いけん}あなたのご^{じゆう}意見を^か自由にお^か書きください。

.....

.....

.....

.....

さいご じしん たず
最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。

F 1

あなたの性別は

- 1 おとこ 男 2 おんな 女

F 2

あなたの年齢は

- 1 20歳代 3 40歳代 5 60歳代
2 30歳代 4 50歳代 6 70歳以上

F 3

あなたの現在地での居住年数は

- 1 1年未満 4 3年以上5年未満 7 20年以上30年未満
2 1年以上2年未満 5 5年以上10年未満 8 30年以上
3 2年以上3年未満 6 10年以上20年未満

F 4

あなたの在留資格は

- 1 特別永住者 6 家族滞在 11 技能又は興行
2 永住者 7 留学 12 特定活動（技能実習生など）
3 日本人の配偶者 8 就学又は研修 13 その他（ ）
4 永住者の配偶者 9 人文知識・国際業務
5 定住者 10 技術

いそが
お忙しいところ、ご協力くださいまして、ありがとうございました。

（お 願 い）

いちど きにゆう か まちが かくにん ねが
もう一度、記入もれや書き間違いがないかどうか、ご確認をお願いします。

かくにん どうふう へんしんようふうとう がつ にち げつ どう
ご確認をおえられましたら、同封の返信用封筒で 10月11日(月)までに投かんしてください。

北九州市市民憲章

わたしたちのまち北九州市は、美しい自然に恵まれ、ながい歴史とたくましい産業をうけついできました。

わたしたち北九州市民は、このまちを愛し、よりいっそうの市民参加によるまちづくりをめざしています。

このふるさとに、実りある未来を築くため、わたしたちは、みんなで守る約束を定めます。

緑を豊かに 清潔で美しいまちにします
きまりを守り 安全なまちにします
人を大切にし ふれあいの輪をひろげます
元気で働き 明るい家庭をつくれます
学ぶ楽しさを深め 文化のかおるまちにします

平成23年 3月 No.1007042A

編集・発行 北九州総務市民局市民部広聴課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

電話(093)582-2527